

VoIPターミナルアダプタ

本製品は、2009年9月をもちまして全てのサービス(販売・設定変更・センドバック保守サポート)を終了させていただきました。

ラインナップ

NTTコミュニケーションズ「.Phone IP Centrexサービス」動作確認済みTA

MR1022V4(SIP対応)

VoIP対応外付けターミナルアダプタ
(アナログ4ポート対応)



IVG-144(MGCP対応)

VoIP対応外付け端末
(アナログ4ポート対応)



MR1022V4 接続例

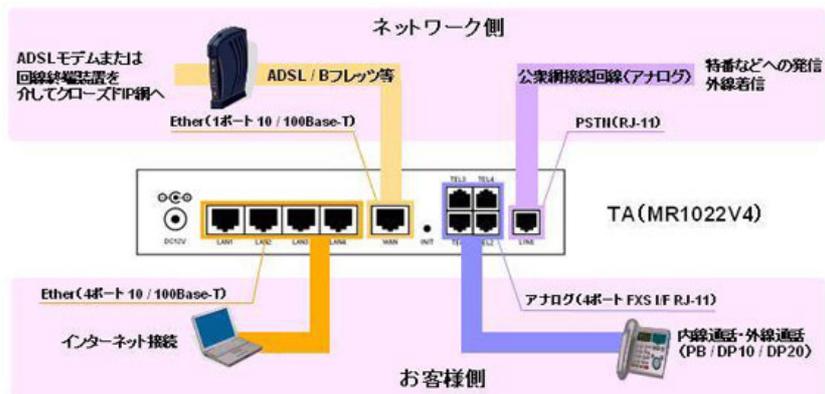
本製品は、2009年9月をもちまして全てのサービス(販売・設定変更・センドバック保守サポート)を終了させていただきました。



VoIP対応外付けターミナルアダプタ(アナログ4ポート対応)
 NTTコミュニケーションズ
 「.Phone IP Centrex for OCNカテゴリ-S、T / for Group-VPN」
 動作確認済みTA

住友電工ネットワークス社製

接続例 (for OCN)



※MR1022V4のLAN側は、ブリッジで動作しております。複数台のPCから同時にインターネット接続される場合は、別途ルータが必要になります。付属の電源アダプタは、アースのとれる場所に設置し電源コードのアース線を設置して使用いただくようお願いいたします。

PBX、ビジネスホン主装置との接続保証はしておりませんので、接続については各装置納入会社様等にご相談いただくようお願いいたします。

MR1022V4仕様

本製品は、2009年9月をもちまして全てのサービス(販売・設定変更・センドバック保守サポート)を終了させていただきました。



VoIP対応外付けターミナルアダプタ(アナログ4ポート対応)
 NTTコミュニケーションズ
 「.Phone IP Centrex for OCNカテゴリ-S、T / for Group-VPN」
 動作確認済みTA

住友電エネットワークス社製

仕様

MR1022V4 製品仕様

項目		仕様	
一般仕様	動作環境	動作温度	5°C～40°C
		動作湿度	5%～85%(ただし、結露しないこと)
		電源電圧	DC12V (専用ACアダプタ使用)
		消費電力	25W以下
	外形寸法	約210(W)×145(D)×45.5(H) mm	
	重量	約900g以下 (ACアダプタを含まず)	
	適合規格	電波妨害	VCCIクラスA
	端末設備等規則	端末設備技術基準適合認定	
WAN側インターフェース (WAN)仕様	ポート数	1ポート	
	コネクタ形状	RJ-45	
	準拠規格	IEEE802.3/IEEE802.3u	
	全二重/半二重	全二重/半二重(自動認識)	
	MDI/MDI-X	MDI固定	
LAN側インターフェース (LAN1～LAN4)仕様	ポート数	4ポート	
	コネクタ形状	RJ-45	
	準拠規格	IEEE802.3/IEEE802.3u	
	全二重/半二重	全二重/半二重(自動認識)	
	MDI/MDI-X	自動認識	
Telインターフェース (Tel1～Tel4)仕様	ポート数	4ポート	
	コネクタ形状	2線式アナログ(RJ-11)	
LINEインターフェース 仕様	ポート数	1ポート	
	コネクタ形状	2線式アナログ(RJ-11)	

※MR1022V4のLAN側は、ブリッジで動作しております。複数台のPCから同時にインターネット接続される場合は、別途ルータが必要になります。

※本製品のOSIには米国Wind River Systems, Inc.のVxWorksを採用しています。

ACアダプタ製品仕様

項目	仕様
外形寸法	約64(W)×110(D)×32(H)mm (コード及び突起部を除く)
質量	約240g (電源コード約190gは含まず)
出力電圧	100-240V (50/60Hz)
出力電圧	DC12V
安全性	電気用品安全法適合

※付属のACアダプタは、アース線を設置して使用するタイプです。

電源コードのアース線を設置してご使用していただくようお願いいたします。

梱包物

- MR1022V4本体 1個
- ACアダプタ 1個
- 電源コード 1本
- LANケーブル 1本(2m)
- モジュラーケーブル 1本(1.8m)
- 使用上のご注意 1部
- MR1022V4端末の障害品のサポートについて(ご案内) 1部
- IAD端末(SSE製MR1022V4)出荷時設定情報 1部
- はじめにお読みください1部

MR1022V4ランプ動作

本製品は、2009年9月をもちまして全てのサービス(販売・設定変更・センドバック保守サポート)を終了させていただきました。



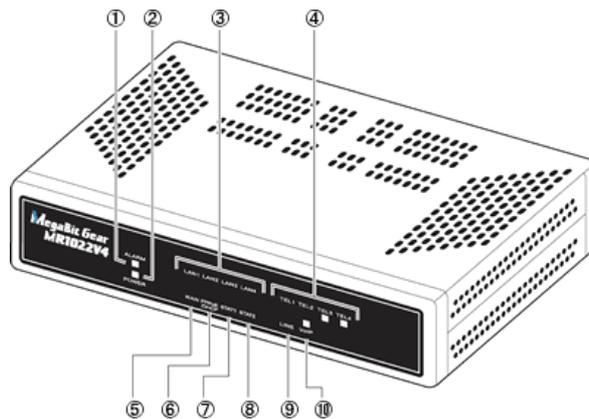
VoIP対応外付けターミナルアダプタ(アナログ4ポート対応)
NTTコミュニケーションズ
「Phone IP Centrex for OCNカテゴリ-S、T / for Group-VPN」
動作確認済みTA

住友電エネットワークス社製

ランプ動作

[前面](#) | [背面](#) |

前面



1. ALARM

赤(点滅): 障害が発生しています。
消灯: 正常に稼働しています。

2. POWER

緑: 電源が入っています。
消灯: 電源が接続されていません。

3. LAN1~4

緑: パソコン等が接続され通信が可能な状態にあります。
緑(点滅): 通信が行われています。
消灯: 通信可能な状態にある機器が接続されていません。

4. Tel1~4

緑: IP電話回線において発信呼出または、通話中です。
緑(点滅): IP電話において着信呼出中です。
橙: 一般電話回線において発信呼出または通話中です。
橙(点滅): 一般電話回線において着信呼出中です。
消灯: 通話が行われていません。

5. WAN

緑: ADSLモデムや光回線終端装置等が接続されています。
緑(点滅): 通信が行われています。
消灯: 使用可能な状態の機器が、WAN側に接続されていません。

6. PPPoEDHCP

緑: PPPリンクが確立している状態です。

緑(点滅): PPPリンク確立中です。

赤(点滅): PPP認証中です。認証に失敗すると、赤もしくは橙の点滅になります。

橙(点滅): PPP認証中です。認証に失敗すると、赤もしくは橙の点滅になります。

消灯: PPPoEおよびDHCPのどちらも使用されていません。

7. STAT1

緑: 運用中は点灯しません。将来の拡張用です。

8. STAT2

緑: 運用中は点灯しません。将来の拡張用です。

9. LINE

緑: 一般電話回線と接続され、使用可能な状態になっています。

消灯: 一般電話回線と接続されていません。

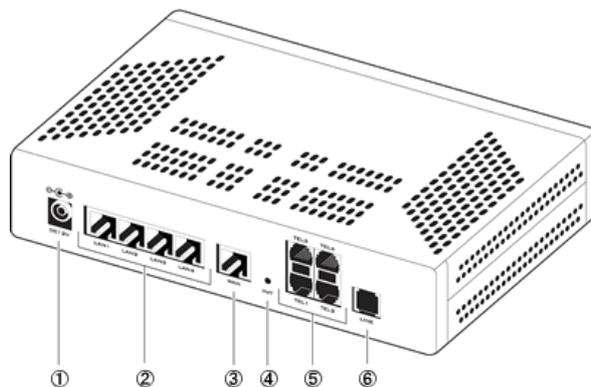
10. VoIP

緑: IP電話サーバと接続され、IP電話が利用可能な状態になっています。

消灯: IP電話サーバと接続されていないため、IP電話が利用できません。

背面

本体背面には、次の各種コネクタおよびINITスイッチが装備されています。



1. 外部電源入力端子

専用ACアダプタを接続してください。

2. LAN1～4コネクタ

パソコン等を接続してください。

LAN1～4はブリッジで動作しております。(RJ45、ストレート/クロス自動認識)

注: 複数台のPCから同時にインターネット接続される場合は、別途ルータが必要になります。

3. WANコネクタ

WAN側の機器を接続してください。(RJ45、ストレート/クロス自動認識)

4. INITスイッチ(注: 基本的には押さないでください)

5秒以上押し続ける事で再起動が行われ設定内容が「初期化設定」に切り替わります。

注: 基本的には、INITスイッチはおさないでください。「初期化設定」に切り替わった場合、IP電話・インターネットがご使用できなくなり、再設定が必要となります。

5. Tel1～4コネクタ

電話機またはPBXを接続してください。(2線式アナログ、RJ-11)

6. LINEコネクタ

一般電話回線を接続してください。(2線式アナログ、RJ-11)

MR1022V4価格

本製品は、2009年9月をもちまして全てのサービス(販売・設定変更・センドバック保守サポート)を終了させていただきました。



VoIP対応外付けターミナルアダプタ(アナログ4ポート対応)
NTTコミュニケーションズ
「.Phone IP Centrex for OCNカテゴリ-S、T / for Group-VPN」
動作確認済みTA

住友電エネットワークス社製

価格

MR1022V4

.Phone IP Centrex for OCN カテゴリ-S、T / for Group-VPN用ターミナルアダプタ

[1] 新規ご購入(2008年3月末をもちまして販売終了いたしました。)

モード	電話接続モード	PBX接続モード
価格	63,220円(税込 66,381円)	66,000円(税込 69,300円)
詳細	<ul style="list-style-type: none"> MR1022V4(本体/電源/LANケーブル/モジュラーケーブル/使用上のご注意) 初期設定(.Phone IP Centrex for OCN用認証ID/パスワード/SIP-ID/SIPパスワード等) 初年度保守(2年目以降は別途有償にて承ります) 電話対応: <ul style="list-style-type: none"> ・祝祭日、当社指定休業日(4月28日～5月6日および年末年始)を除く ・月～金 9時30分～11時45分、12時30分～17時30分 故障対応: <ul style="list-style-type: none"> ・故障発生時、電話による簡易切り分け(MR1022V4の状態確認) ・電話対応による機器故障確認後の代替機準備(設定済みMR1022V4) ・代替機(設定済MR1022V4)先行発送によるセンドバック交換 お客様にTA端末の再起動をお願いすることがありますので予めご了承の程お願いいたします。 代替機到着後お客様にて機器交換していただき故障品を当社まで送付していただく必要があります。 TA端末の修理は行っておりません。 お客様のご都合(移転、サービス変更等)による設定変更につきましては、別途有償にてご対応させていただきます。 .Phone IP Centrex for Group-VPNに関しては、リモートからの設定変更および調査を行えませんので予めご了承ください。 	

[2] 設定変更(2009年9月末をもちまして対応終了いたしました。)

モード	電話機接続モード	PBX接続モード
価格	5,220円(税込 5,481円)	6,700円(税込 7,035円)
詳細	<ul style="list-style-type: none"> 設定変更には、TA端末を一度当社に返送していただく必要がある場合とリモートにて対応できる場合がございます。詳細は、お申込み手順をご参照ください。 TA端末を一度当社に返送していただく必要がある場合は、お客様からTA端末を当社へ発送する料金および設定変更後、当社からお客様への発送料金については、お客様のご負担となります。 設定変更に伴うTA端末の保守期間延長はございません。初期納入後から1年間となります。 設定変更後のMR1022V4出荷、または設定変更作業は、ご入金確認後となります。 .Phone IP Centrex for Group-VPNに関しては、リモートでの設定変更を行えませんので予めご了承ください。 	

[3] 2年目以降センドバック保守（2009年9月末をもちまして対応終了いたしました。）

モード	電話機接続モード	PBX接続モード
価格	18,000円 (税込 18,900円)	18,000円 (税込 18,900円)
詳細	<ul style="list-style-type: none">電話対応:<ul style="list-style-type: none">・祝祭日、当社指定休業日 (4月28日～5月6日および年末年始)を除く・月～金 9時30分～11時45分、12時30分～17時30分故障対応:<ul style="list-style-type: none">・故障発生時、電話による簡易切り分け (MR1022V4の状態確認)・電話対応による機器故障確認後の代替機準備 (設定済みMR1022V4)・代替機 (設定済みMR1022V4) 先行発送によるセンドバック交換お客様にTA端末の再起動をお願いすることがありますので予めご了承の程お願いいたします。代替機到着後お客様にて機器交換していただき故障品を当社まで送付していただく必要があります。保守期間が満了し契約を更新されていない場合は、上記センドバック保守サービスを行うことができませんので予めご了承の程お願いいたします。TA端末の修理は行っておりません。センドバック保守サービスは、ご購入時からの継続契約のみのお取扱いとなります。お客様のご都合 (移転、サービス変更等) による設定変更につきましては、別途有償にてご対応させていただきます。・Phone IP Centrex for Group-VPNに関しては、リモートでの設定変更および調査を行えませんので予めご了承ください。	

モードの違いについて

[1] 電話機接続モード

- ・各Telポートに番号を括りつけて利用する場合に使用します。
- ・着信時の動作
番号＝各Telポート毎の着信となります。

[2] PBX接続モード

- ・番号追加サービス (ダイヤルイン) を利用し各Telポートを追加番号を含めた番号で利用する場合に使用します。
- ・着信時の動作
空きTelポートをサーチし、PBXへ番号情報を送出します。
番号情報送出方法はPBXダイヤルイン方式 (1～4桁)、モデムダイヤルイン方式となります。
必ずPBX側で対応した方式を選択してください。

※上記接続モードの区分は番号追加サービスを利用し、ダイヤルインを使用する使用しないの区分です。
実際の接続形態でPBXを接続するかではありませんのでご注意ください。以上を満たしても動作保証するものではありません。

注意事項

- ・PBX・主装置・ボタン電話との接続保証はしておりませんので、接続については各装置納入会社様等にご相談いただくようお願いいたします。
- ・本製品の販売は企業ユーザー様向けのみとさせていただきます。
- ・本製品購入におけるお支払い方法は、事前振込みにてお願いいたします。
- ・本製品購入時に機器への設定情報を事前に当社へご連絡いただく必要がございます。
- ・初期設定の項目はお客様で変更できませんので、予めご了承ください。なお変更が必要な場合は、別途有償で承ります。
- ・下記の内容はサービス対象外となりますので別料金となります。
 1. 機器の増設、撤去および移転工事に伴う作業
 2. 天災事変等の不可抗力に起因する故障や障害
 3. 故意、または過失、その他お客様の責に帰すべき原因により生じた故障や障害
- ・当社にて機器故障確認後、代替機を発送いたします。沖縄本島を含め離島への代替機の発送は機器到着まで数日かかる場合がございますので予めご了承ください。
- ・お振込み手数料はお客様にてご負担いただきます。
- ・ご入金後のキャンセルの場合には、ご入金済み代金から振込み手数料を引いた金額を返金いたします。(ただし、製品発送後のキャンセルはお受けできません)
- ・拡張機能を目的としたソフトウェアのバージョンアップは含まれておりません。

MR1022V4 よくあるご質問 (FAQ)

本製品は、2009年9月をもちまして全てのサービス(販売・設定変更・センドバック保守サポート)を終了させていただきました。



VoIP対応外付けターミナルアダプタ(アナログ4ポート対応)
NTTコミュニケーションズ
「.Phone IP Centrex for OCNカテゴリ-S、T / for Group-VPN」
動作確認済みTA

住友電エネットワークス社製

ご購入前

Q:「.Phone IP Centrex for OCNカテゴリ-S、T / for Group-VPN」以外のサービスにも使用する事は可能ですか?

A: 使用することはできません。.Phone IP Centrex for OCNカテゴリ-S、T / for Group-VPN専用ターミナルアダプタとなっております。

Q:「電話機接続モード」と「PBX接続モード」の違いは?

A: [価格](#)をご参照ください。

Q: MR1022V4はルータとして使用できますか?

A: MR1022V4のLAN側はブリッジで動作しております。複数台のPCから同時にインターネットをご利用する際は、LAN側に別途ルータを設置していただく必要があります。

Q: PBX / ビジネスフォン接続は?

A: TAの電話接続ポートはFXSであるため、PBX/ビジネスフォン主装置側はCOTインターフェースである必要があります。ただし、以上を満たしたとしてもPBX/ビジネスフォン主装置との接続動作保証するものではありません。接続については各装置納入会社様等にご相談いただくようお願いいたします。

Q: Fax接続は?

A: Fax接続のご利用は、Faxの機能的制約から、Faxの種類、ブロード回線の状況により正常に使用できない可能性があります。Fax接続については動作保証するものではありません。

Q: 電話機は何でもいいのですか?

A: 一般家庭でご利用になられている電話機であれば利用できますが、機種によっては利用できない場合があります。電話機については動作保証するものではありません。

なお、ナンバーディスプレイをお申込みになる場合には、ナンバーディスプレイ対応電話機が必要になります。

ACR(LCR)機能付き電話機をお使いの場合正常に動作しない場合があります。ACR(LCR)機能を解除または、外付けアダプタを外すなどしてからご利用ください。

ご購入前

Q: IP電話から同一市内の一般加入電話にダイヤルするには?

A: 同一市内にダイヤルする際も、市外局番からダイヤルしていただくようお願いいたします。

Q: 設置工事は?

A: お客様にて設置いただいております。サービスを利用するために必要な情報をすべて設定済みの状態で納品させていただきますので、WANコネクタにWAN側機器、Telコネクタに電話機を接続していただけますよう、お願いいたします。

設定内容の確認

Q: MR1022V4の設定変更が発生する場合は?

A: 設定変更手順をご参照ください。

ご使用中のトラブル

Q: IP電話が使用できないのですが?

A: MR1022V4のランプ状態を確認してから、一度MR1022V4の電源を落とし、10分程度経ってから電源を入れ直してください。

Q: MR1022V4のPOWERランプが緑点灯にならないのですが?

A: 下記5項目を確認してください。

- ・接続先コンセントに電源が来ていること
- ・コンセントに電源コードが接続されていること
- ・電源アダプタと電源コードの接続が最後まで押し込んであること
- ・電源アダプタの緑ランプが点灯していること
- ・MR1022V4のDC12Vに電源アダプタコードが最後まで押し込んであること

Q: MR1022V4のWANランプが緑点灯又は緑点滅しないのですが?

A: 下記3項目を確認してください。

- ・MR1022V4のPOWERランプが緑点灯していること
- ・フレッツ回線終端装置の電源が入っていること
- ・MR1022V4のWANポートに接続されたLANケーブルがフレッツ回線終端装置に接続されていること

※サービスタイプによりMR1022V4のWANポートに接続される機器が異なります。

Q: MR1022V4のPPPoEランプ/VoIPランプが緑点灯にならないのですが?

A: 下記2項目を確認してください。

- ・MR1022V4のPOWERランプが緑点灯していること
- ・MR1022V4に接続されているケーブルが最後まで押し込んであること

※サービスタイプによりPPPoEランプが消灯の場合もあります。

ご使用中のトラブル

Q: アナログ単体電話機の手話器をあげてもトーン(ツー)音がしないのですが?

A: 下記4項目を確認してください。

- ・MR1022V4のPOWERランプが緑点灯していること
- ・ALARMランプが消灯していること
- ・MR1022V4に接続されているケーブルが最後まで押し込んであること
- ・MR1022V4のPPPoEランプ/VoIPランプが緑点灯していること

※サービスタイプによりPPPoEランプが消灯の場合もあります。

Q: ALARMランプが消灯しないのですが?

A: 一度MR1022V4の電源を落とし、10分程度経ってから電源を入れ直してください。

Q: ダイヤルイン信号(PBX接続モード)がうまく伝わらないのですが?

A: MR1022V4のTelポートに接続される機器側においてダイヤルイン機能に対応していること、およびMR1022V4とPBX間でアースを取得されていることを確認してください。

Q: IP電話番号に着信ができないのですが?

A: 下記2項目を確認してください。

- ・MR1022V4のPPPoEランプ/VoIPランプが緑点灯していること
- ・アナログ単体電話機の手話器をあげてトーン(ツー)音がすること

※サービスタイプによりPPPoEランプが消灯の場合もあります。

Q: IP電話番号に着信があり手話器をあげると、しばらく無音状態、または切断されてしまうのですが?

A: .Phone IP CentrexサービスとMR1022V4のナンバーディスプレイ機能と、お使いのアナログ単体電話機のナンバーディスプレイ機能が同じ設定であること、およびMR1022V4とビジネスフォン/PBX間でアースを取得されていることを確認してください。

Q: 通話中の音声が途切れるのですが?

A: フレッツ回線の速度が十分に出ているか確認してください。

※回線状況等によりIP電話の通話品質に影響が出る可能性があります。

Q: 通話中の音声が雑音が入るのですが?

A: フレッツ回線の速度が十分に出ているか確認してください。また、同一フレッツ回線上に多量なデータ通信(パケット)が流れていないことを確認してください。

※回線状況等によりIP電話の通話品質に影響が出る可能性があります。

Q: 通話音量が小さく聞き取れないのですが?

A: MR1022V4側で音声レベル(音量)の変更は出来ません。ご使用されている電話機側で変更していただくよう、お願いします。

Q: 一般加入電話回線から発信する為に「0000」を押した後、相手先電話番号をダイヤルしてもトーン(ツー)のままに発信できないのですが?

A: アナログ単体電話機のダイヤル種別(DP/PB)と一般加入電話回線のダイヤル種別をそろえてください。

ご使用中のトラブル

Q: MR1022V4のLANポートにPCを接続したが、インターネットへ接続できないのですが?

A: PCにインターネット接続用の認証ID/パスワードが設定されていることを確認してください。

Q: 複数台のPCから同時にインターネットへアクセスしたいのですが?

A: MR1022V4のLAN側はブリッジで動作しております。

別途ブロードバンドルータをご準備いただきLANポートへ接続してください。

ブロードバンドルータの設定方法については、各機器メーカー様へご確認ください。

Q: MR1022V4のLANポートのどのポートを使用するの?

A: LAN1ポートをご使用ください。

注意事項

- ・設定変更作業は、お客様責任で実施をお願いいたします。
- ・手順通りに設定変更を実施されないと故障の原因になりますのでご注意ください。
- ・手順についてのお問合せには、お答えできません。

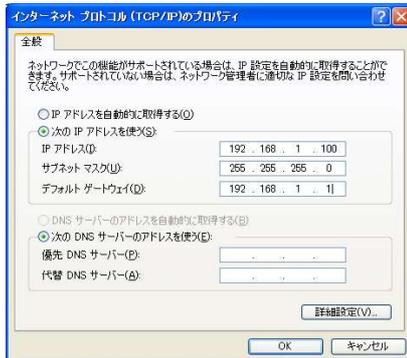
設定変更手順

1. MR1022V4設定変更で使用するPCの設定

- ①[スタート]をクリックし[コントロールパネル]をクリックして開きます。
- ②[ネットワーク接続]をクリック或いはダブルクリックし開きます。
- ③[ローカルエリア接続]を右クリックし[プロパティ]をクリックして、[ローカルエリア接続のプロパティ]を開きます。



- ④[インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選択し[プロパティ]をクリックして、[インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ]を開きます。
- ⑤[次のIPアドレスを使う]を選択し、以下の値を入力し、[OK]をクリックします。
 IPアドレス: **192.168.1.100**
 サブネットマスク: **255.255.255.0**
 デフォルトゲートウェイ: **192.168.1.1**



- ⑥[ローカルエリア接続のプロパティ]で[OK]をクリックします。
- ⑦[ネットワーク接続]を閉じます。

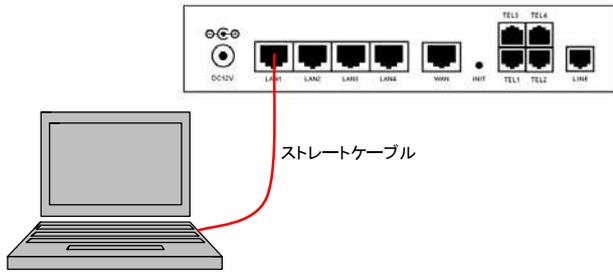
2. リセットレポートの実施

- ①MR1022V4背面に接続されている電源ケーブルを含めた全てのケーブルを抜きます。
その際、同じ位置に再接続できるようタグ等を事前につけておくことをお奨めいたします。
- ②電源ケーブルを接続し、POWERのLEDが緑点灯で、その他のLEDが全て消灯となるまで待ちます。
- ③MR1022V4背面のINITボタンを細い棒状のもので押します。
INITボタンを押したまま2秒程度待ち、その後INITボタンから手を放してください。
MR1022V4起動後、PCよりMR1022V4へアクセス可能となります。
(POWER: 緑点灯、PPPoE/DHCP: 緑⇄橙交互点滅、その他: 消灯)

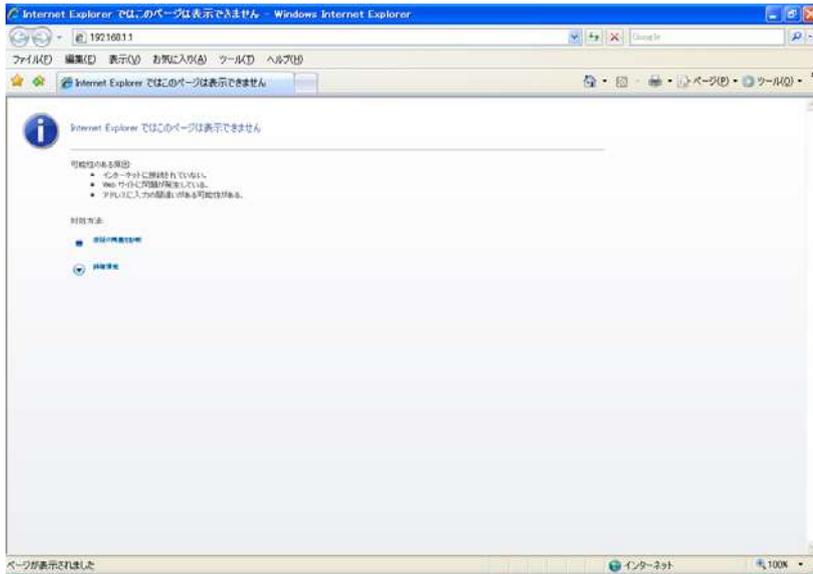
※リセットレポートを実施することにより、工場出荷時の初期設定(Factory_Default)で起動しますが、ご使用の設定データには影響ありません。
リセットレポート実施後、設定変更が必要ない場合も”7. ログインパスワード設定”及び”8. ログインパスワード確認”の作業を必ず行ってください。

3. ログイン

- ①PCのLANポートとMR1022V4のLAN1ポートをLANケーブル(ストレートケーブル)で接続します。



- ②WEBブラウザを起動し、MR1022V4(192.168.1.1)へアクセスします。
(失敗する場合は、コマンドプロンプトで"arp -d"を実行して"arp Table"をクリアし再試行してください。)



- ③下記のユーザー名、パスワードを入力し[OK]をクリックします。
ユーザー名: **root**
パスワード: **root**



- ④MegaBit Gear MR1022V4(TOPページ)が表示されます。

4. 基本設定

- ①表示された「設定の選択」画面にて、No.1の[編集する]をクリックします。



- ②表示された「基本設定」画面にて、必要に応じて「設定の名称」を変更します(半角英数字及び一部の記号16文字以内)。
・設定の名称: (変更後の名称)

- ③認証ID、認証パスワードが変更となる場合は、設定変更となる項目に入力し[設定]をクリックします。
※NTTコミュニケーションズ様から送付される2種類の「ご利用内容のご案内」の内、「ご利用サービス名」の項に「Phone IP Centrex」と記載されているもので、設定内容を確認してください。
・ユーザID: (Phone IP Centrex用認証ID) ...通常は、先頭1文字目が"j"です。
・パスワード: (Phone IP Centrex用認証パスワード)
・パスワードの確認入力: (Phone IP Centrex用認証パスワード)



- ④画面左側のメニューより、IP電話設定をクリックします。

5-1. IP電話設定【電話機接続モード】

※PBX接続モードは「5-2. IP電話設定【PBX接続モード】」へ

※NTTコミュニケーションズ様から送付される2種類の「ご利用内容のご案内」の内、「ご利用サービス名」の項に「Phone IP Centrex」と記載されているもので、設定内容を確認してください。

①表示された「IP電話設定」画面にて、各項目が以下の通りであることを確認、或いは以下のように入力します。

•IP電話機能：**電話機接続モード**で使用する

•事業者コード：**003**

※カテゴリ-Tに変更する場合は、「004」になります。「MR1022V4設定手順(Phone IP Centrex for OCN カテゴリ-T)」を参照してください。

•IP電話ユーザID：**(SIP-ID)**

•IP電話ユーザパスワード：**(SIPパスワード)**

※大文字・小文字に注意してください。

•IP電話番号1：**(電話番号1)** 着信TELポート：**「1」にチェック**

•IP電話番号2：**(電話番号2)** 着信TELポート：**「2」にチェック**

•IP電話番号3：**(電話番号3)** 着信TELポート：**「3」にチェック**

•IP電話番号4：**(電話番号4)** 着信TELポート：**「4」にチェック**

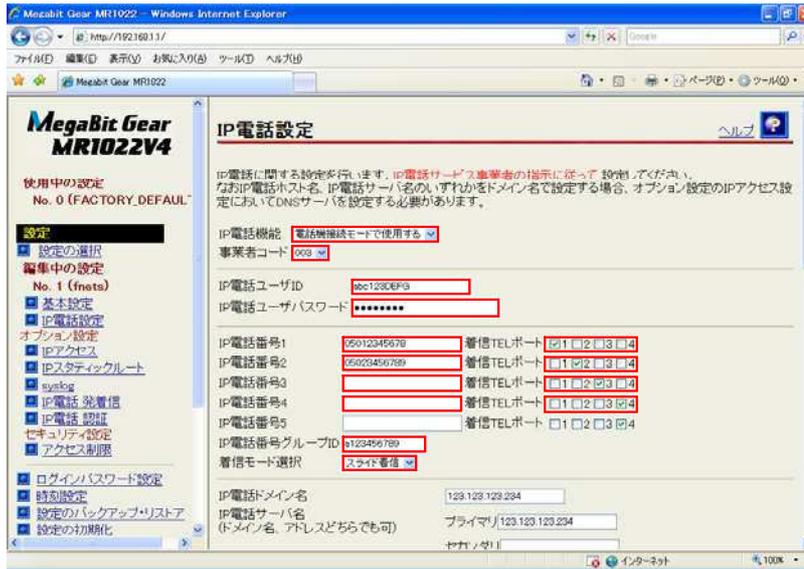
•IP電話番号5：**空欄** 着信TELポート：**「4」にチェック**

※(電話番号)入力時に「-」は入力しないでください。また、同一-chに外線・内線両方の番号がある場合は**内線番号**を入力してください。

•IP電話番号グループID：**a+(オンネットグループ番号)**

※(オンネットグループ番号)が「123456789」の場合、「a123456789」になります。

•着信モード選択：**スライド着信**



•IP電話ドメイン名：**(CAのIPアドレス)**

•IP電話サーバ名・プライマリ：**(CAのIPアドレス)**

※(CAのIPアドレス)入力時にサブネットマスクは入力しないでください。

•IP電話発信の通知番号(Telポート1)：**IP電話番号1**

•IP電話発信の通知番号(Telポート2)：IP電話番号2がある場合は**「IP電話番号2」**を選択します。IP電話番号2が空欄である場合は**「IP電話番号1」**を選択します。

•IP電話発信の通知番号(Telポート3)：IP電話番号3がある場合は**「IP電話番号3」**を選択します。IP電話番号3が空欄である場合は**「IP電話番号1」**を選択します。

•IP電話発信の通知番号(Telポート4)：IP電話番号4がある場合は**「IP電話番号4」**を選択します。IP電話番号4が空欄である場合は**「IP電話番号1」**を選択します。

•IP電話発信の番号通知Telポート：**「1」~「4」全てチェック**

•ナンバー・ディスプレイ表示(Telポート1)~ナンバー・ディスプレイ表示(Telポート4)：

ご契約内容に合わせて、「行う(キャッチホン・ディスプレイ含む)」/「行わない」を選択します。

※「行う」は選択しないでください。



・ダイヤルイン(TELポート1)～ダイヤルイン(TELポート4)：通知しない

・一般電話の着信TELポート：バックアップPSTNラインを使用しない場合は「1」にチェックします。
バックアップPSTNラインを全利用TELポートで使用する場合は「1」～「4」全てチェックします。
バックアップPSTNラインをTELポート1のみで使用する場合は「1」にチェックします。

・一般電話のキャッチホン契約：ご契約内容に合わせて、「契約あり」/「契約なし」を選択します。



②[設定]をクリックします。

③画面左側のメニューより、IP電話 認証をクリックします。

※6. IP電話 認証へ

5-2. IP電話設定【PBX接続モード】

※NTTコミュニケーションズ様から送付される2種類の「ご利用内容のご案内」の内、「ご利用サービス名」の項に「Phone IP Centrex」と記載されているもので、設定内容を確認してください。

①表示された「IP電話設定」画面にて、各項目が以下の通りであることを確認、或いは以下のように入力します。

・IP電話機能: **PBX接続モードで使用する**

・事業者コード: **003**

※カテゴリ-Tに変更する場合は、「004」になります。「MR1022V4設定手順(Phone IP Centrex for OCN カテゴリ-T)」を参照してください。

・IP電話ユーザID: **(SIP-ID)**

・IP電話ユーザパスワード: **(SIPパスワード)**

※大文字・小文字に注意してください。

・IP電話番号1～32: **(電話番号1)～(電話番号32)**

※(電話番号)入力時に「-」は入力しないでください。また、同一chに外線・内線両方の番号がある場合は**内線番号**を入力してください。

・着信TELポート: **「1」～「4」全てチェック**

・IP電話番号グループID: **a+(オンネットグループ番号)**を入力します。

※(オンネットグループ番号)が「123456789」の場合、「a123456789」になります。



・IP電話ドメイン名: **(CAのIPアドレス)**

・IP電話サーバ名・プライマリ: **(CAのIPアドレス)**

※(CAのIPアドレス)入力時にサブネットマスクは入力しないでください。

・IP電話発信の通知番号(Telポート1): **IP電話番号1**

・IP電話発信の通知番号(Telポート2): IP電話番号2がある場合は「**IP電話番号2**」を選択します。IP電話番号2が空欄である場合は「**IP電話番号1**」を選択します。

・IP電話発信の通知番号(Telポート3): IP電話番号3がある場合は「**IP電話番号3**」を選択します。IP電話番号3が空欄である場合は「**IP電話番号1**」を選択します。

・IP電話発信の通知番号(Telポート4): IP電話番号4がある場合は「**IP電話番号4**」を選択します。IP電話番号4が空欄である場合は「**IP電話番号1**」を選択します。

・IP電話発信の番号通知Telポート: **「1」～「4」全てチェック**

・ナンバー・ディスプレイ表示:

ご契約内容に合わせて、「**行う(キャッチホン・ディスプレイ含む)**」/「**行わない**」を選択します。

※「**行う**」は選択しないでください。

※下記ダイヤルインがPBダイヤルイン方式の場合はナンバーディスプレイありでも「**行わない**」を選択します。

・ダイヤルイン: ご利用状況に合わせて、「**モデムダイヤルインで通知する**」/「**PBダイヤルイン(1桁)で通知する**」/「**PBダイヤルイン(2桁)で通知する**」/「**PBダイヤルイン(3桁)で通知する**」/「**PBダイヤルイン(4桁)で通知する**」/「**通知しない**」を選択します。



- ・一般電話のキャッチホン契約: ご契約内容に合わせて、「契約あり」/「契約なし」を選択します。



②[設定]をクリックします。

③画面左側のメニューより、IP電話 認証をクリックします。

6. IP電話 認証

①表示された「IP電話 認証設定」画面にて、サーバへの登録が全て「行う」であることを確認します。



※サーバへの登録が「行わない」である場合
(i)行わないをクリックします。



(ii)以下の通り選択し[設定]をクリックします。
・IP電話サーバへの登録: 行う



(iii)全て「行う」になるまで(i)～(ii)を繰り返します。

②画面左側のメニューより、ログインパスワード設定をクリックします。

7. ログインパスワード設定

※既にログインパスワードを変更済みで、変更しない場合は「8. ログインパスワード確認」②、③、⑪～⑭の作業を行ってください。

①表示された「ログインパスワード設定」画面にて、ユーザ名の下の下線付き文字(下記ではmr1022)をクリックします。



②ユーザ名、パスワードを変更し[設定]をクリックします。
お客様でご自由に設定してください(ユーザ名、パスワードとも半角英数字及び一部の記号32文字以内)。



③画面左側のメニューより、アクセス制限をクリックします。

8. ログインパスワード確認

- ①表示された「アクセス制限設定」画面にて、「LAN側からのアクセスを禁止する」のチェックを外し[設定]をクリックします。



- ②画面左側のメニューより、設定の選択をクリックします。

- ③表示された「設定の選択」画面にて、No.1の[使用する]をクリックします。



- ④[OK]をクリックします。

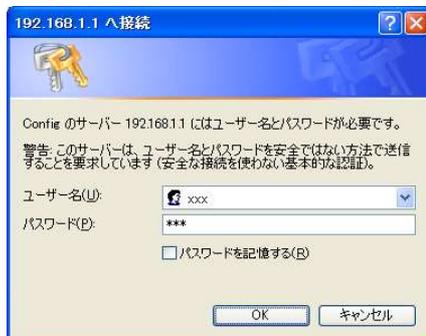


- ⑤POWERのLEDが緑点灯、LAN1のLEDが緑点灯或いは緑点滅、その他のLEDが全て消灯となるまで待ちます。

⑥[再表示]をクリックします。



⑦"7. ログインパスワード設定"で変更したユーザ名、パスワードを入力し[OK]をクリックします。



⑧表示された「設定の選択」画面にて、No.1の[編集する]をクリックします。



⑨画面左側のメニューより、アクセス制限をクリックします。



⑩表示された「アクセス制限設定」画面にて、「LAN側からのアクセスを禁止する」のチェックを入れ[設定]をクリックします。



⑪[OK]をクリックします。
※これ以降はMR1022V4にはアクセスできなくなります。



⑫WEBブラウザを閉じて、終了します。

⑬PCのLANポートとMR1022V4のLAN1ポートに接続されているLANケーブル(ストレートケーブル)を抜きます。

⑭設定変更前に抜いたケーブルを元の位置に全て接続します。

注意事項

- ・設定変更作業は、お客様責任で実施をお願いいたします。
- ・手順通りに設定変更を実施されないと故障の原因になりますのでご注意ください。
- ・手順についてのお問合せには、お答えできません。

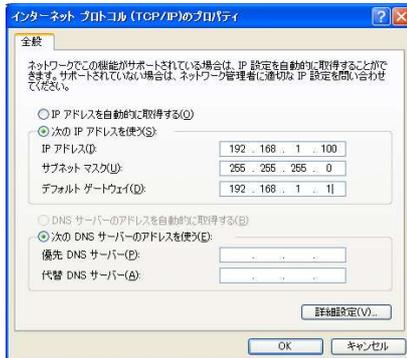
設定変更手順

1. MR1022V4設定変更で使用するPCの設定

- ①[スタート]をクリックし[コントロールパネル]をクリックして開きます。
- ②[ネットワーク接続]をクリック或いはダブルクリックし開きます。
- ③[ローカルエリア接続]を右クリックし[プロパティ]をクリックして、[ローカルエリア接続のプロパティ]を開きます。



- ④[インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選択し[プロパティ]をクリックして、[インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ]を開きます。
- ⑤[次のIPアドレスを使う]を選択し、以下の値を入力し、[OK]をクリックします。
IPアドレス: **192.168.1.100**
サブネットマスク: **255.255.255.0**
デフォルトゲートウェイ: **192.168.1.1**



- ⑥[ローカルエリア接続のプロパティ]で[OK]をクリックします。
- ⑦[ネットワーク接続]を閉じます。

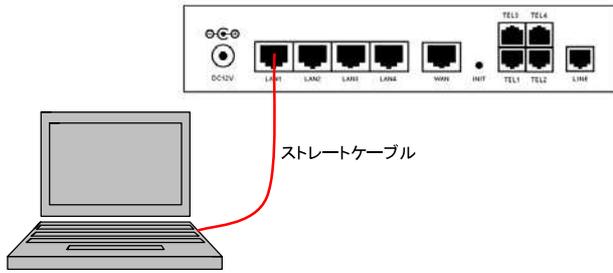
2. リセットレポートの実施

- ①MR1022V4背面に接続されている電源ケーブルを含めた全てのケーブルを抜きます。
その際、同じ位置に再接続できるようタグ等を事前につけておくことをお奨めいたします。
- ②電源ケーブルを接続し、POWERのLEDが緑点灯で、その他のLEDが全て消灯となるまで待ちます。
- ③MR1022V4背面のINITボタンを細い棒状のもので押します。
INITボタンを押したまま2秒程度待ち、その後INITボタンから手を放してください。
MR1022V4起動後、PCよりMR1022V4へアクセス可能となります。
(POWER: 緑点灯、PPPoE/DHCP: 緑⇄橙交互点滅、その他: 消灯)

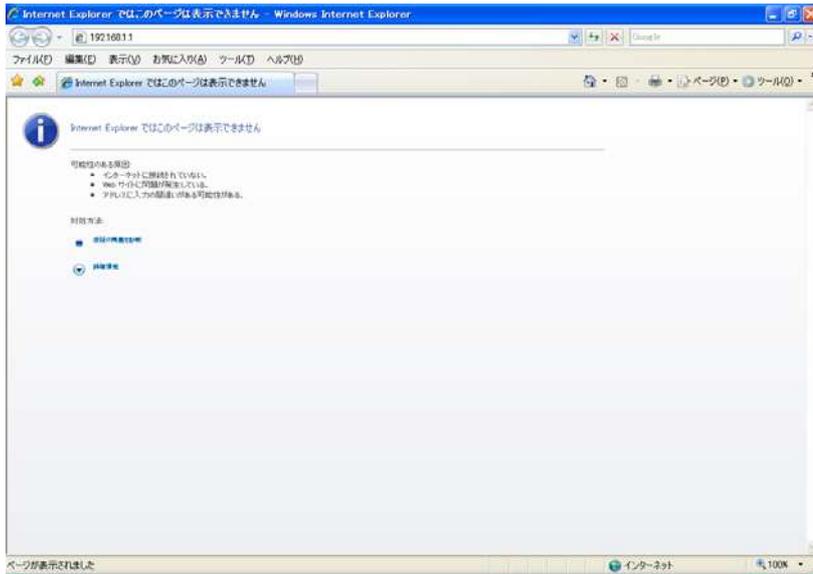
※リセットレポートを実施することにより、工場出荷時の初期設定(Factory_Default)で起動しますが、ご使用の設定データには影響ありません。
リセットレポート実施後、設定変更が必要な場合も”7. ログインパスワード設定”及び”8. ログインパスワード確認”の作業を必ず行ってください。

3. ログイン

- ①PCのLANポートとMR1022V4のLAN1ポートをLANケーブル(ストレートケーブル)で接続します。



- ②WEBブラウザを起動し、MR1022V4(192.168.1.1)へアクセスします。
(失敗する場合は、コマンドプロンプトで"arp -d"を実行して"arp Table"をクリアし再試行してください。)



- ③下記のユーザー名、パスワードを入力し[OK]をクリックします。
ユーザー名: **root**
パスワード: **root**



- ④MegaBit Gear MR1022V4(TOPページ)が表示されます。

4. 基本設定

- ①表示された「設定の選択」画面にて、No.1の[編集する]をクリックします。



- ②表示された「基本設定」画面にて、必要に応じて「設定の名称」を変更します(半角英数字及び一部の記号16文字以内)。
・設定の名称: (変更後の名称)

- ③認証ID、認証パスワードが変更となる場合は、設定変更となる項目に入力し[設定]をクリックします。
※NTTコミュニケーションズ様から送付される2種類の「ご利用内容のご案内」の内、「ご利用サービス名」の項に「Phone IP Centrex」と記載されているもので、設定内容を確認してください。
・ユーザID: (Phone IP Centrex用認証ID) ...通常は、先頭1文字目が"j"です。
・パスワード: (Phone IP Centrex用認証パスワード)
・パスワードの確認入力: (Phone IP Centrex用認証パスワード)



- ④画面左側のメニューより、IP電話設定をクリックします。

5-1. IP電話設定【電話機接続モード】

※PBX接続モードは「5-2. IP電話設定【PBX接続モード】」へ

※NTTコミュニケーションズ様から送付される2種類の「ご利用内容のご案内」の内、「ご利用サービス名」の項に「Phone IP Centrex」と記載されているもので、設定内容を確認してください。

①表示された「IP電話設定」画面にて、各項目が以下の通りであることを確認、或いは以下のように入力します。

・IP電話機能：電話機接続モードで使用する

・事業者コード：004

※カテゴリースIに変更する場合は、「003」になります。「MR1022V4設定手順(Phone IP Centrex for OCN カテゴリース)」を参照してください。

・IP電話ユーザID：(SIP-ID)

・IP電話ユーザパスワード：(SIPパスワード)

※大文字・小文字に注意してください。

・IP電話番号1：(電話番号1) 着信TELポート：IP電話番号1を着信させたいTELポートにチェックします。

・IP電話番号2：(電話番号2) 着信TELポート：IP電話番号2を着信させたいTELポートにチェックします。

IP電話番号2が空欄である場合は「2」にチェックします。

・IP電話番号3：(電話番号3) 着信TELポート：IP電話番号3を着信させたいTELポートにチェックします。

IP電話番号3が空欄である場合は「3」にチェックします。

・IP電話番号4：(電話番号4) 着信TELポート：IP電話番号4を着信させたいTELポートにチェックします。

IP電話番号4が空欄である場合は「4」にチェックします。

・IP電話番号5：(電話番号5) 着信TELポート：IP電話番号5を着信させたいTELポートにチェックします。

IP電話番号5が空欄である場合は「4」にチェックします。

※(電話番号)入力時に「-」は入力しないでください。また、同一-chに外線・内線両方の番号がある場合は外線番号を入力してください。

・IP電話番号グループID：空欄

・着信モード選択：ご利用状況に合わせて、「スライド着信」/「一斉着信」を選択します。



・IP電話ドメイン名：(接続ドメイン名) ... 通常は、「centrex.jp」です。

・IP電話サーバ名・プライマリ：(CAのIPアドレス)

※(CAのIPアドレス)入力時にサブネットマスクは入力しないでください。

・IP電話発信の通知番号(Telポート1)：発信時に着信先へ通知するIP電話番号を選択します。

・IP電話発信の通知番号(Telポート2)：発信時に着信先へ通知するIP電話番号を選択します。IP電話番号2が空欄である場合は「IP電話番号1」を選択します。

・IP電話発信の通知番号(Telポート3)：発信時に着信先へ通知するIP電話番号を選択します。IP電話番号3が空欄である場合は「IP電話番号1」を選択します。

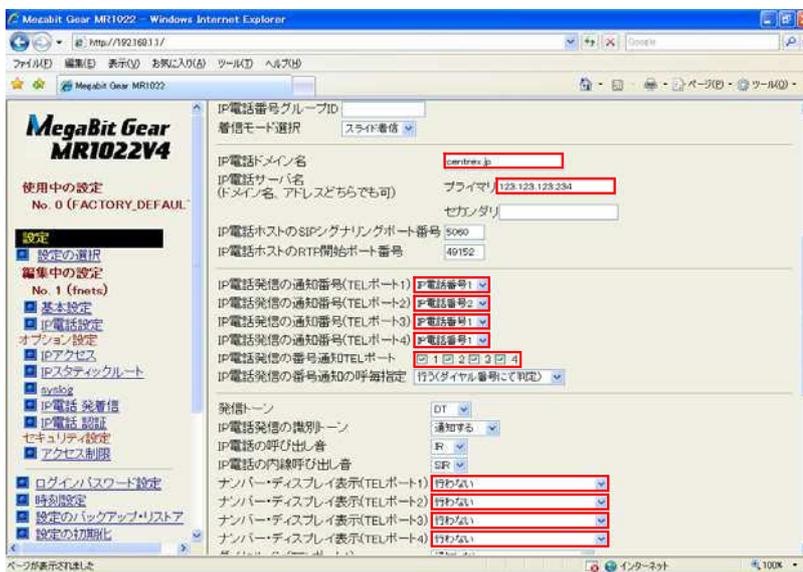
・IP電話発信の通知番号(Telポート4)：発信時に着信先へ通知するIP電話番号を選択します。IP電話番号4が空欄である場合は「IP電話番号1」を選択します。

・IP電話発信の番号通知TELポート：発信時に着信先へ番号通知を行うTELポートにチェックします。

・ナンバー・ディスプレイ表示(Telポート1)～ナンバー・ディスプレイ表示(Telポート4)：

ご利用内容に合わせて、「行う(キャッチホン・ディスプレイ含む)」/「行わない」を選択します。

※「行う」は選択しないでください。



・ダイヤルイン(TELポート1)～ダイヤルイン(TELポート4)：通知しない

・一般電話の着信TELポート：バックアップPSTNラインを使用しない場合は「1」にチェックします。
バックアップPSTNラインを全利用TELポートで使用する場合は「1」～「4」全てチェックします。
バックアップPSTNラインをTELポート1のみで使用する場合は「1」にチェックします。

・一般電話のキャッチホン契約：ご契約内容に合わせて、「契約あり」/「契約なし」を選択します。



②[設定]をクリックします。

③画面左側のメニューより、IP電話 認証をクリックします。

※“6. IP電話 認証”へ

5-2. IP電話設定【PBX接続モード】

※NTTコミュニケーションズ様から送付される2種類の「ご利用内容のご案内」の内、「ご利用サービス名」の項に「Phone IP Centrex」と記載されているもので、設定内容を確認してください。

①表示された「IP電話設定」画面にて、各項目が以下の通りであることを確認、或いは以下のように入力します。

・IP電話機能: **PBX接続モードで使用する**

・事業者コード: **004**

※カテゴリ「S」に変更する場合は、「003」になります。「MR1022V4設定手順(Phone IP Centrex for OCN カテゴリ「S」)」を参照してください。

・IP電話ユーザID: **(SIP-ID)**

・IP電話ユーザパスワード: **(SIPパスワード)**

※大文字・小文字に注意してください。

・IP電話番号1～32: **(電話番号1)～(電話番号32)**

※(電話番号)入力時に「-」は入力しないでください。また、同一chに外線・内線両方の番号がある場合は**外線番号**を入力してください。

・着信TELポート: 着信させたいTELポートにチェックします。

・IP電話番号グループID: **空欄**



・IP電話ドメイン名: **(接続ドメイン名)** ...通常は、「centrex.jp」です。

・IP電話サーバ名・プライマリ: **(CAのIPアドレス)**

※(CAのIPアドレス)入力時にサブネットマスクは入力しないでください。

・IP電話発信の通知番号(Telポート1): 発信時に着信先へ通知するIP電話番号を選択します。

・IP電話発信の通知番号(Telポート2): 発信時に着信先へ通知するIP電話番号を選択します。IP電話番号2が空欄である場合は「**IP電話番号1**」を選択します。

・IP電話発信の通知番号(Telポート3): 発信時に着信先へ通知するIP電話番号を選択します。IP電話番号3が空欄である場合は「**IP電話番号1**」を選択します。

・IP電話発信の通知番号(Telポート4): 発信時に着信先へ通知するIP電話番号を選択します。IP電話番号4が空欄である場合は「**IP電話番号1**」を選択します。

・IP電話発信の番号通知TELポート: 発信時に着信先へ番号通知を行うTELポートにチェックします。

・ナンバー・ディスプレイ表示:

ご契約内容に合わせて、「**行う(キャッチホン・ディスプレイ含む)**」/「**行わない**」を選択します。

※「**行う**」は選択しないでください。

※下記ダイヤルインがPBダイヤルイン方式の場合はナンバーディスプレイありでも「**行わない**」を選択します。

・ダイヤルイン: ご利用状況に合わせて、「**モデムダイヤルインで通知する**」/「**PBダイヤルイン(1桁)で通知する**」/「**PBダイヤルイン(2桁)で通知する**」/「**PBダイヤルイン(3桁)で通知する**」/「**PBダイヤルイン(4桁)で通知する**」/「**通知しない**」を選択します。



- ・一般電話のキャッチホン契約: ご契約内容に合わせて、「契約あり」/「契約なし」を選択します。



②[設定]をクリックします。

③画面左側のメニューより、IP電話 認証をクリックします。

6. IP電話 認証

①表示された「IP電話 認証設定」画面にて、サーバへの登録がNo.1のみ「行う」、No.2以降「行わない」であることを確認します。



※No.2以降のサーバへの登録が「行う」である場合
(i)行うをクリックします。



(ii)以下の通り選択し[設定]をクリックします。
・IP電話サーバへの登録: 行わない



(iii)No.2以降全て「行わない」になるまで(i)～(ii)を繰り返します。

②画面左側のメニューより、ログインパスワード設定をクリックします。

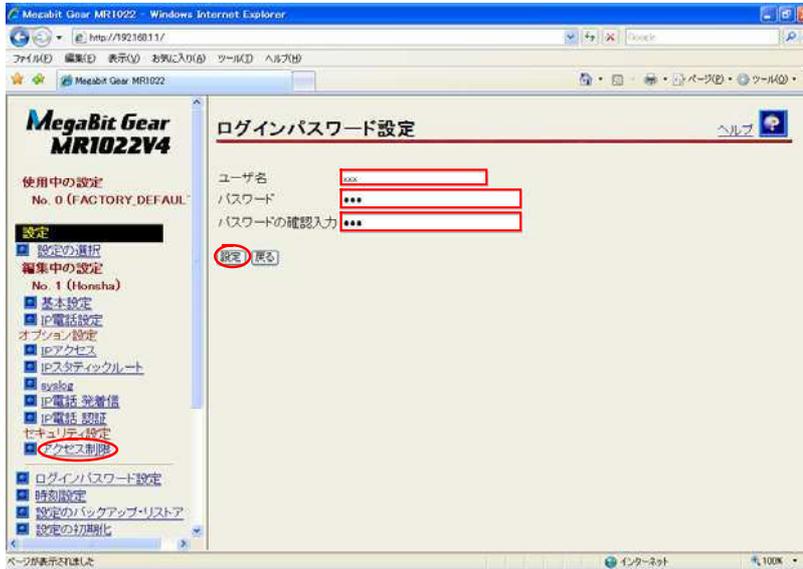
7. ログインパスワード設定

※既にログインパスワードを変更済みで、変更しない場合は「8. ログインパスワード確認」②、③、⑪～⑭の作業を行ってください。

①表示された「ログインパスワード設定」画面にて、ユーザ名の下の下線付き文字(下記ではmr1022)をクリックします。



②ユーザ名、パスワードを変更し[設定]をクリックします。
お客様でご自由に設定してください(ユーザ名、パスワードとも半角英数字及び一部の記号32文字以内)。



③画面左側のメニューより、アクセス制限をクリックします。

8. ログインパスワード確認

- ①表示された「アクセス制限設定」画面にて、「LAN側からのアクセスを禁止する」のチェックを外し[設定]をクリックします。



- ②画面左側のメニューより、設定の選択をクリックします。

- ③表示された「設定の選択」画面にて、No.1の[使用する]をクリックします。



- ④[OK]をクリックします。

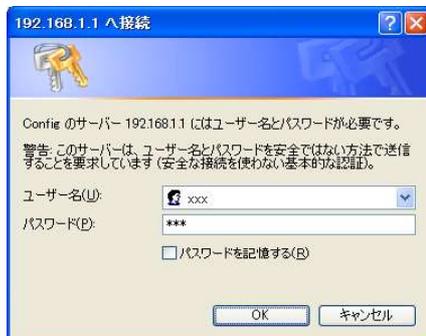


- ⑤POWERのLEDが緑点灯、LAN1のLEDが緑点灯或いは緑点滅、その他のLEDが全て消灯となるまで待ちます。

⑥[再表示]をクリックします。



⑦"7. ログインパスワード設定"で変更したユーザ名、パスワードを入力し[OK]をクリックします。



⑧表示された「設定の選択」画面にて、No.1の[編集する]をクリックします。



⑨画面左側のメニューより、アクセス制限をクリックします。



⑩表示された「アクセス制限設定」画面にて、「LAN側からのアクセスを禁止する」のチェックを入れ[設定]をクリックします。



⑪[OK]をクリックします。
※これ以降はMR1022V4にはアクセスできなくなります。



⑫WEBブラウザを閉じて、終了します。

⑬PCのLANポートとMR1022V4のLAN1ポートに接続されているLANケーブル(ストレートケーブル)を抜きます。

⑭設定変更前に抜いたケーブルを元の位置に全て接続します。

IVG-144接続例

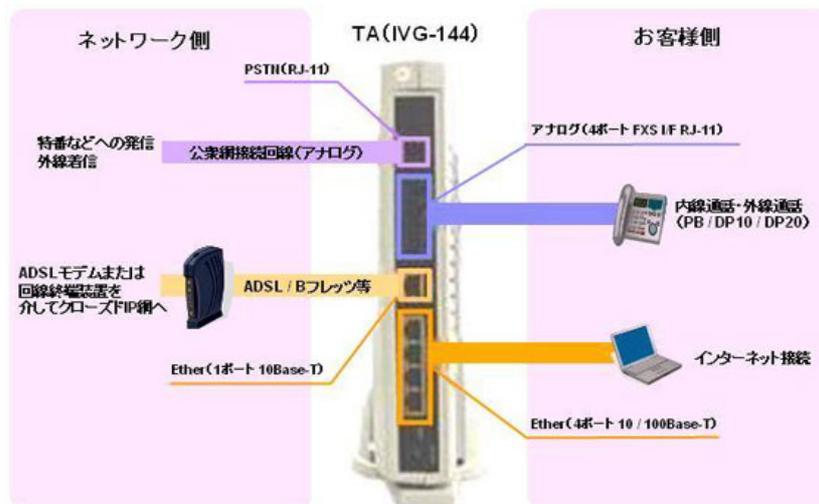
本製品は、2009年9月をもちまして全てのサービス(販売・設定変更・センドバック保守サポート)を終了させていただきました。



VoIP対応外付け端末(アナログ4ポート対応)
NTTコミュニケーションズ
「.Phone IP Centrex for OCNカテゴリ-S」動作確認済みTA

住商情報システム社製
(旧社名:住商エレクトロニクス株式会社)

接続例



※IVG-144のLAN側は、ブリッジで動作しております。複数台のPCから同時にインターネット接続される場合は、別途ルータが必要になります。
PBX、ビジネスホン等との接続保証はしておりませんので、接続については各装置納入会社様等にご相談いただくようお願いいたします。

IVG-144仕様

本製品は、2009年9月をもちまして全てのサービス(販売・設定変更・センドバック保守サポート)を終了させていただきました。



VoIP対応外付け端末(アナログ4ポート対応)
NTTコミュニケーションズ
「.Phone IP Centrex for OCNカテゴリ-S」動作確認済みTA

住商情報システム社製
(旧社名:住商エレクトロニクス株式会社)

仕様

アナログインターフェースの仕様については次のページをご覧ください

項目		仕様	
標準インターフェース	WAN	Ethernet RJ45-10BASE-T:1	
	LAN	Ethernet RJ45-10/100BASE-T:4	
	VoIP	RJ-11 : 4	
	PSTN	RJ-11 : 1	
	USB	-	
環境	電源	入力	100-240V AC50/60Hz
		出力	12V 1A DC
	消費電力		最大12W
	動作条件	動作時	0°C~45°C
非動作時 (保管時)		-20°C~70°C	
相対湿度		10%~90%	
寸法および重量	幅/奥行/高さ/重量	60mm / 195mm / 250mm / 644g	
システムコンフィグレーション	モード	ブリッジ	
ネットワークプロトコル	対応プロトコル	ARP/IP/ICMP/TDP/UDP/RTP/RTCP	
	MACアドレス	対応	
	TFTP	対応	
プロトコル	PacketCable NCS1.0		対応
	RFC2705 MGCP		対応
	CODEC	G.711	対応
		G.726	対応
		G.729A	対応
G.723.1A		対応	

※IVG-144のLAN側は、ブリッジで動作しております。複数台のPCから同時にインターネット接続される場合は、別途ルータが必要になります。

梱包物

- IVG-144本体 1個
- ACアダプタ 1個

- 電源コード 1本
 - スタンド 1個
 - LANケーブル 1本(2m)
 - ユーザーガイド 1部
 - IVG-144端末の障害品のサポートについて(ご案内) 1部
 - IAD端末(SSE製IVG-144)出荷時設定情報 1部
 - はじめにお読みください1部
-

IVG-144仕様

本製品は、2009年9月をもちまして全てのサービス(販売・設定変更・センドバック保守サポート)を終了させていただきました。



VoIP対応外付け端末(アナログ4ポート対応)
NTTコミュニケーションズ
「Phone IP Centrex for OCNカテゴリ-S」動作確認済みTA

住商情報システム社製
(旧社名:住商エレクトロニクス株式会社)

アナログインターフェース仕様

IVG-144のアナログインターフェースは、汎用のSLIC(Subscriber Line Interface Circuit:加入者回線インターフェース回路)Chipを用いています。このChipはNTT仕様のインターフェースをサポート可能な能力を具備し、IVG-144ソフトウェアも基本電話サービスを提供するために最低限必要なNTT仕様・機能を満足するように設計しております。

ここでは、PBX等の端末接続で特に関連する事項とNTT仕様との差分を示します。

(技術参考資料:電話サービスのインターフェースを参照ください)

1. 電源供給条件

NTT既存アナログ回線と同等です。即ち、端末に対してL1、L2の2線を用いて通信用の直流電源を供給しています。供給する電圧は、一方を地気、他方を-42~-53Vとしています。

ループ電流も既存回線の仕様(網の両線間を50~300Ωの純抵抗で終端したときの電流は、15mA以上、130mA以下)範囲内です。ただし、定電流給電方式を採用していますので、線路抵抗に関わらず、20mAから30mA程度の範囲になります。

2. 特性インピーダンス

NTT既存アナログ回線と同等(平衡600Ωと1μFの直列インピーダンス)。

3. 線路抵抗

基本的には宅内配線として想定される範囲内(100オーム程度)での利用になります。

4. 加入者線信号の種類

NTT仕様では下表に示す信号が規定されています。IVG-144では、課金信号はサポートしておりません。

<信号の種類による分類>

分類	信号の方向		信号例
	端末	網	
監視信号		→	発呼信号、終話信号
		←	呼出信号
		→ ←	応答信号、切断信号
選択信号		→	ダイヤルパルス(DP)、押しボタンダイヤル(PB)信号
可聴音		←	発信音、呼出音、話中音、通話中着信表示音
課金信号		←	硬貨収納等信号

内線呼出信号(SIR)や着信転送警告信号(TIR)は現時点ではサポートされていません。ただし、転送忘れ防止機能として、通常の呼出信号(IR)にて数秒リングします。(CA側の設定に依存)

また、以下の可聴音をNTT仕様でサポートしています。

- ・発信音(DT)
- ・呼出音(RBT)
- ・話中音(BT)

通話中着信表示音はNTT仕様と異なります。それ以外の可聴音は未サポートです。

DIAL無しタイムアウトの場合

OFFHOOK 可聴音ダイアルトーン 15秒

無音 25秒

BT 25秒

誤ダイアル

OFFHOOK 誤ダイアル送出

無音 15秒

BT 15秒

桁間タイムアウト(5秒)

OFFHOOK

桁間タイムアウト用ダイアル送出

BT 25秒

相手切断(発着関係なく共通動作)

無音 5秒

BT 25秒

ON-HOOK Voltage: 51-52V

OFF-HOOK Voltage: 8V-10V

51ohme 2V

100 3V

220 7V

990 13V

IVG-144ランプ動作

本製品は、2009年9月をもちまして全てのサービス(販売・設定変更・センドバック保守サポート)を終了させていただきました。

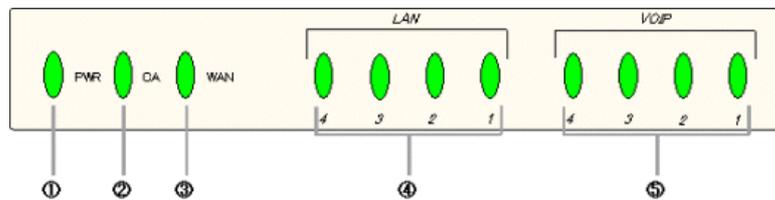


VoIP対応外付け端末(アナログ4ポート対応)
NTTコミュニケーションズ
「.Phone IP Centrex for OCNカテゴリ-S」動作確認済みTA

住商情報システム社製
(旧社名:住商エレクトロニクス株式会社)

ランプ動作

前面



1. PWR

緑:電源が入っています。
消灯:電源が接続されていません。

2. CA

緑:IP電話サーバと接続され、IP電話が利用可能な状態になっています。
緑(点滅):IP電話サーバと接続されていないため、IP電話が利用できません。

3. WAN

緑:ADSLモデムや光回線終端装置等が接続されています。
緑(点滅):通信が行われています。
消灯:使用可能な状態の機器が、WAN側に接続されていません。

4. LAN1~4

緑:パソコン等が接続され通信が可能な状態にあります。
緑(点滅):通信が行われています。
消灯:通信可能な状態にある機器が接続されていません。

5. VoIP1~4

緑:IP電話回線において発信呼出または、通話中です。
緑(点滅):IP電話において着信呼出中です。
消灯:通話が行われていません。

背面

本体背面には、次の各種コネクタおよびRSTスイッチが装備されています。



1. PSTN

一般電話回線を接続してください。(2線式アナログ、RJ-11)

2. VoIP1~4

電話機を接続してください。(2線式アナログ、RJ-11)

3. WAN

WAN側の機器を接続してください。(RJ45)

4. LAN1~4

パソコン等を接続してください。

LAN1~4はブリッジで動作しております。(RJ45)

注:複数台のPCから同時にインターネット接続される場合は、別途ルータが必要になります。

5. RSTスイッチ(注:基本的には押さないでください)

RSTスイッチを押すことで設定内容が切り替わります。

注:RSTスイッチは押さないでください。設定内容が切り替わった場合、IP電話・インターネットがご使用できなくなり、再設定が必要となります。

6. 外部電源入力端子

専用ACアダプタを接続してください。

IVG-144価格

本製品は、2009年9月をもちまして全てのサービス(販売・設定変更・センドバック保守サポート)を終了させていただきました。



VoIP対応外付け端末(アナログ4ポート対応)
NTTコミュニケーションズ
「.Phone IP Centrex for OCNカテゴリ-S」動作確認済みTA

住商情報システム社製
(旧社名:住商エレクトロニクス株式会社)

価格

[1]新規ご購入(2008年3月末をもちまして販売終了いたしました。)

価格	44,080円(税込46,284円)
詳細	<ul style="list-style-type: none"> IVG-144(本体/スタンド/電源/LANケーブル/ユーザーマニュアル) 初期設定(.Phone IP Centrex for OCNカテゴリ-S用認証ID/パスワード/IPアドレス) 初年度保守(2年目以降は別途有償にて承ります) 電話対応: <ul style="list-style-type: none"> 祝祭日、当社指定休業日(4月28日~5月6日および年末年始)を除く 月~金 9時30分~11時45分、12時30分~17時30分 故障対応: <ul style="list-style-type: none"> 故障発生時、電話による簡易切り分け(IVG-144の状態確認) 電話対応による機器故障確認後の代替機準備(設定済みIVG-144) 代替機(設定済みIVG-144)先行発送によるセンドバック交換 お客様にTA端末の再起動をお願いすることがありますので予めご了承の程お願いいたします。 代替機到着後お客様にて機器交換していただき故障品を当社まで送付していただく必要があります。 TA端末の修理は行っておりません。 お客様のご都合(移転、サービス変更等)による設定変更につきましては、別途有償にてご対応させていただきます。

[2]設定変更(2009年9月末をもちまして対応終了いたしました。)

価格	3,480円(税込 3,654円)
詳細	<ul style="list-style-type: none"> 設定変更の際は、TA端末を一度当社に返送していただく必要がございます。 お客様からTA端末を当社へ発送する料金および設定変更後、当社からお客様への発送料金については、お客様のご負担となります。 設定変更に伴うTA端末の保守期間延長はございません。初期納入後から1年間となります。 設定変更後のIVG-144出荷は、ご入金確認後となります。

[3]2年目以降センドバック保守（2009年9月末をもちまして対応終了いたしました。）

価格	14,800円(税込 15,540円)
詳細	<ul style="list-style-type: none">電話対応：<ul style="list-style-type: none">・祝祭日、当社指定休業日（4月28日～5月6日および年末年始）を除く・月～金 9時30分～11時45分、12時30分～17時30分故障対応：<ul style="list-style-type: none">・故障発生時、電話による簡易切り分け（IVG-144の状態確認）・電話対応による機器故障確認後の代替機準備（設定済みIVG-144）・代替機（設定済みIVG-144）先行発送によるセンドバック交換 <p>お客様にTA端末の再起動をお願いすることがありますので予めご了承の程お願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none">・代替機到着後お客様にて機器交換していただき故障品を当社まで送付していただく必要があります。・保守期間が満了し契約を更新されていない場合は、上記センドバック保守サービスを行うことができませんので予めご了承の程お願いいたします。・TA端末の修理は行っておりません。・センドバック保守サービスは、ご購入時からの継続契約のみのお取扱いとなります。・お客様のご都合（移転、サービス変更等）による設定変更につきましては、別途有償にてご対応させていただきます。

注意事項

- ・ PBX・主装置・ボタン電話との接続保証はしておりませんので、接続については各装置納入会社様等にご相談いただくようお願いいたします。
- ・ 本製品の販売は企業ユーザー様向けのみとさせていただきます。
- ・ 本製品購入におけるお支払い方法は、事前振込みにてお願いいたします。
- ・ 本製品購入において初期設定情報を当社へご連絡いただく必要がございます。
- ・ 初期設定の項目はお客様で変更できませんので、予めご了承ください。なお、変更が必要な際は、別途有償で承ります。
- ・ 下記の内容はサービス対象外となりますので別料金となります。
 - 1.機器の増設、撤去および移転工事に伴う作業
 - 2.天災事変等の不可抗力に起因する故障や障害
 - 3.故意、または過失、その他お客様の責に帰すべき原因により生じた故障や障害
- ・ お振込みの手数料はお客様にてご負担願います。
- ・ ご入金後のキャンセルの場合には、ご入金済みの代金から振込み手数料を引いた金額を返金いたします。ただし、製品発送後のキャンセルはお受けできません。
- ・ 拡張機能を目的としたソフトウェアのバージョンアップは含まれておりません。

IVG-144 よくあるご質問 (FAQ)

本製品は、2009年9月をもちまして全てのサービス(販売・設定変更・センドバック保守サポート)を終了させていただきました。



VoIP対応外付け端末(アナログ4ポート対応)
NTTコミュニケーションズ
「.Phone IP Centrex for OCNカテゴリ-S」動作確認済みTA

住商情報システム社製
(旧社名:住商エレクトロニクス株式会社)

ご購入前

Q:「.Phone IP Centrex for OCNカテゴリ-S」以外のサービスでも使用する事は可能ですか?

A: 使用することはできません。.Phone IP Centrex for OCNカテゴリ-S専用ターミナルアダプタとなっております。

Q: IVG-144はルータとして使用できますか?

A: IVG-144のLAN側はブリッジで動作しております。複数台のPCから同時にインターネットをご利用する際は、LAN側に別途ルータを設置していただく必要があります。

Q: PBX / ビジネスフォン接続は?

A: TAの電話接続ポートはFXSであるため、PBX / ビジネスフォン主装置側はCOTインターフェースである必要があります。ただし、以上を満たしたとしてもPBX / ビジネスフォン主装置との接続動作保証するものではありません。接続については各装置納入会社様等にご相談いただくようお願いいたします。

Q: Fax接続は?

A: Fax接続のご利用は、Faxの機能的制約から、Faxの種類、ブロードバンド回線の状況により正常に使用できない可能性があります。Fax接続については動作保証するものではありません。

Q: 電話機は何でもいいのですか?

A: 一般家庭でご利用になられている電話機であれば利用できますが、機種によっては利用できない場合があります。電話機については動作保証するものではありません。なお、ナンバーディスプレイをお申込みになる場合には、ナンバーディスプレイ対応電話機が必要になります。ACR(LCR)機能付き電話機をお使いの場合正常に動作しない場合があります。ACR(LCR)機能を解除または、外付けアダプタを外すなどしてからご利用ください。

Q: IP電話から同一市内の一般加入電話にダイヤルするには?

A: 同一市内にダイヤルする際も、市外局番からダイヤルしていただくようお願いいたします。

ご購入前

Q: 設置工事は?

A: お客様にて設置いたしております。サービスを利用するために必要な情報をすべて設定済みの状態で納品させていただきますので、WANコネクタにWAN側機器、Telコネクタに電話機を接続していただけますよう、お願いいたします。

設定内容の変更

Q: IVG-144設定変更が発生する場合は?

A: 設定変更手順をご参照ください。

ご使用中のトラブル

Q: IP電話が使用できないのですが?

A: IVG-144のランプ状態を確認してから、一度IVG-144の電源を落とし、10分程度経ってから電源を入れ直してください。

Q: IVG-144のPWRランプが緑点灯にならないのですが?

A: 下記5項目を確認してください。

- ・接続先コンセントに電源が来ていること
- ・コンセントに電源コードが接続されていること
- ・電源アダプタと電源コードの接続が最後まで押し込んであること
- ・電源アダプタの緑ランプが点灯していること
- ・IVG-144のDC12Vに電源アダプタコードが最後まで押し込んであること

Q: IVG-144のWANランプが緑点灯又は緑点滅しないのですが?

A: 下記3項目を確認してください。

- ・IVG-144のPWRランプが緑点灯していること
- ・フレッツ回線終端装置の電源が入っていること
- ・IVG-144のWANポートに接続されたLANケーブルがフレッツ回線終端装置に接続されていること

Q: IVG-144のCAランプが緑点灯にならないのですが?

A: 下記2項目を確認してください。

- ・IVG-144のPWRランプが緑点灯していること
- ・IVG-144に接続されているケーブルが最後まで押し込んであること

Q: アナログ単体電話機の手話器をあげてもトーン(ツーン)音がしないのですが?

A: 下記3項目を確認してください。

- ・IVG-144のPWRランプが緑点灯していること
- ・IVG-144に接続されているケーブルが最後まで押し込んであること
- ・IVG-144のCAランプが緑点灯していること

ご使用中のトラブル

Q: IP電話番号に着信ができないのですが?

A: 下記2項目を確認してください。

- ・IVG-144のCAランプが緑点灯していること
- ・アナログ単体電話機の受話器をあげてトーン(ツー)音がすること

Q: IP電話番号に着信があり受話器をあげると、しばらく無音状態、または切断されてしまうのですが?

A: .Phone IP Centrexサービスとお使いのアナログ単体電話機のナンバーディスプレイ機能が同じ設定であること、およびIVG-144とビジネスフォン / PBX間でアースを取得されていることを確認してください。

Q: 通話中の音声途切れるのですが?

A: フレッツ回線の速度が十分に出ているか確認してください。

※回線状況等によりIP電話の通話品質に影響が出る可能性があります。

Q: 通話中の音声に雑音が入るのですが?

A: フレッツ回線の速度が十分に出ているか確認してください。また、同一フレッツ回線上に多量なデータ通信(パケット)が流れていないことを確認してください。

※回線状況等によりIP電話の通話品質に影響が出る可能性があります。

Q: 通話音量が小さく聞き取れないのですが?

A: IVG-144側で音声レベル(音量)の変更は出来ません。ご使用されている電話機側で変更していただくよう、お願いします。

Q: 一般加入電話回線から発信する為に「9」を押した後、相手先電話番号をダイヤルしてもトーン(ツー)のまま発信できないのですが?

A: アナログ単体電話機のダイヤル種別(DP / PB)と一般加入電話回線のダイヤル種別をそろえてください。

Q: IVG-144のLANポートにPCを接続したが、インターネットへ接続できないのですが?

A: PCにインターネット接続用の認証ID / パスワードが設定されていることを確認してください。

Q: 複数台のPCから同時にインターネットへアクセスしたいのですが?

A: IVG-144のLAN側はブリッジで動作しております。

別途ブロードバンドルータをご準備いただきLANポートへ接続してください。

ブロードバンドルータの設定方法については、各機器メーカー様へご確認ください。

Q: IVG-144のLANポートのどのポートを使用するの?

A: LAN1ポートをご使用ください。

注意事項

- ・設定変更作業は、お客様責任で実施をお願いいたします。
- ・手順通りに設定変更を実施されないと故障の原因になりますのでご注意ください。
- ・手順についてのお問合せには、お答えできかねます。

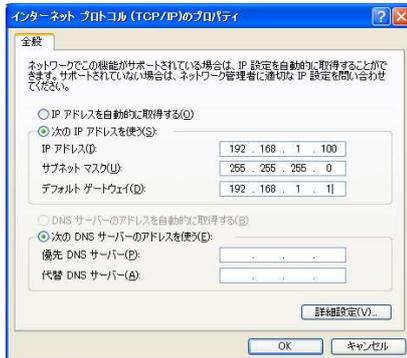
設定変更手順

1. IVG-144設定変更で使用するPCの設定

- ①[スタート]をクリックし[コントロールパネル]をクリックして開きます。
- ②[ネットワーク接続]をクリック或いはダブルクリックし開きます。
- ③[ローカルエリア接続]を右クリックし[プロパティ]をクリックして、[ローカルエリア接続のプロパティ]を開きます。



- ④[インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選択し[プロパティ]をクリックして、[インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ]を開きます。
- ⑤[次のIPアドレスを使う]を選択し、以下の値を入力し、[OK]をクリックします。
IPアドレス: **192.168.1.100**
サブネットマスク: **255.255.255.0**
デフォルトゲートウェイ: **192.168.1.1**



- ⑥[ローカルエリア接続のプロパティ]で[OK]をクリックします。
- ⑦[ネットワーク接続]を閉じます。

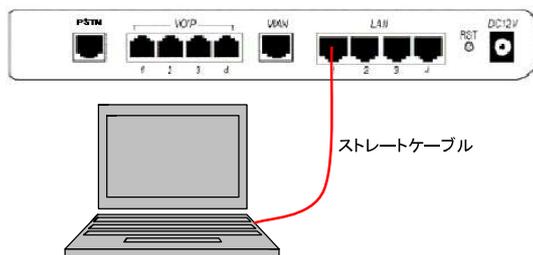
2. リセットレポートの実施

- ①IVG-144背面に接続されている電源ケーブルを含めた全てのケーブルを抜きます。
その際、同じ位置に再接続できるようタグ等を事前につけておくことをお奨めいたします。
- ②IVG-144背面のRSTボタンを細い棒状のもので押しながら電源ケーブルを接続します。
RSTボタンを押したまま5秒程度待ち、その後RSTボタンから手を放してください。
IVG-144起動後、PCよりIVG-144へアクセス可能となります。

※リセットを実施することにより、ユーザー名、パスワード、Operation Modeが工場出荷時の初期値(Factory Default)に変更されます。
リセット実施後、設定変更が必要ない場合も"3. 設定変更"及び"4. IVG-144の設定変更"①～③、⑭～⑳の作業を必ず行ってください。

3. IVG-144へのアクセス用ユーザー名(管理アクセスID)、パスワード(管理アクセスパスワード)の変更

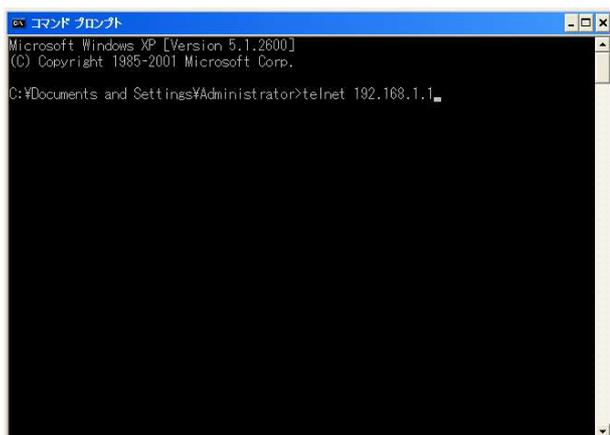
- ①PCのLANポートとIVG-144のLAN1ポートをLANケーブル(ストレートケーブル)で接続します。



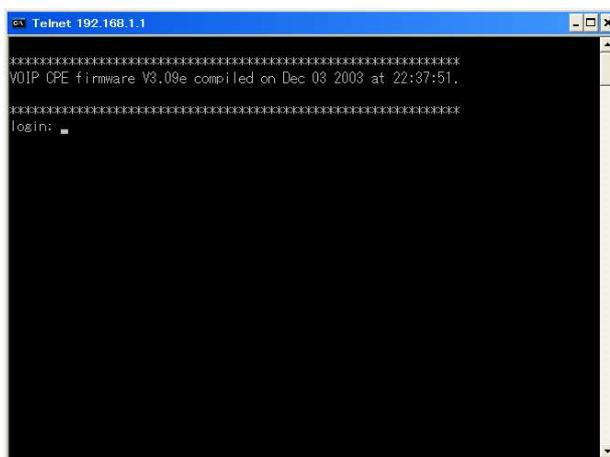
②[スタート]をクリックし[プログラム]→[アクセサリ]よりコマンドプロンプトを起動します。

③コマンドプロンプトより以下コマンドを入力し、telnetを実行します。

telnet 192.168.1.1

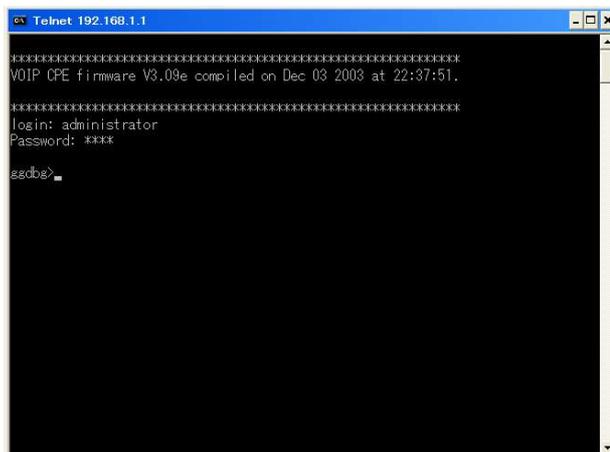


④IVG-144のログインが表示されます。



⑤下記のLogin, Passwordを入力し、ログインします。

login: **administrator**
Password: **mgcp**

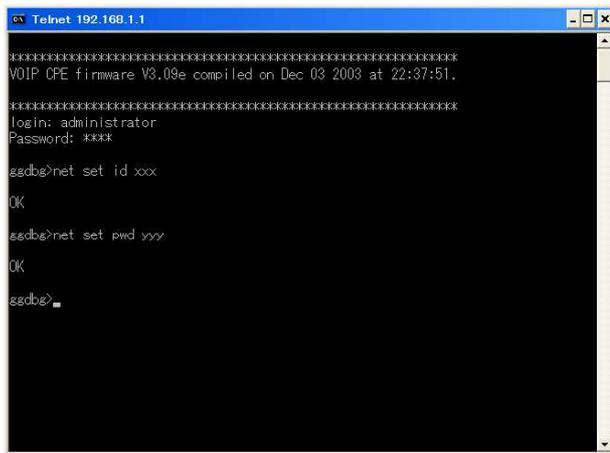


⑥ユーザー名(管理アクセスID)を変更します。

お客様でご自由に設定してください(半角英数字32文字以内)。下記の例では、"xxx"に変更しています。
net set id <変更後ユーザー名>

⑦パスワード(管理アクセスパスワード)を変更します。

お客様でご自由に設定してください(半角英数字32文字以内)。下記の例では、"yyy"に変更しています。
net set pwd <変更後パスワード>



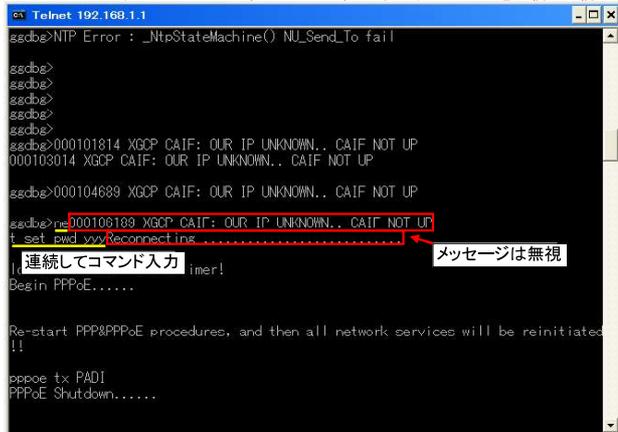
```
Telnet 192.168.1.1
*****
VOIP CPE firmware V3.09e compiled on Dec 03 2003 at 22:37:51.
*****
login: administrator
Password: ****

gsdb>net set id xxx
OK

gsdb>net set pwd yyy
OK

gsdb>
```

※コマンド入力中にメッセージがあがるありますが、メッセージを無視し連続してそのまま入力してください。



```
Telnet 192.168.1.1
gsdb>NTP Error : _NtpStateMachine() NUL_Send_To fail

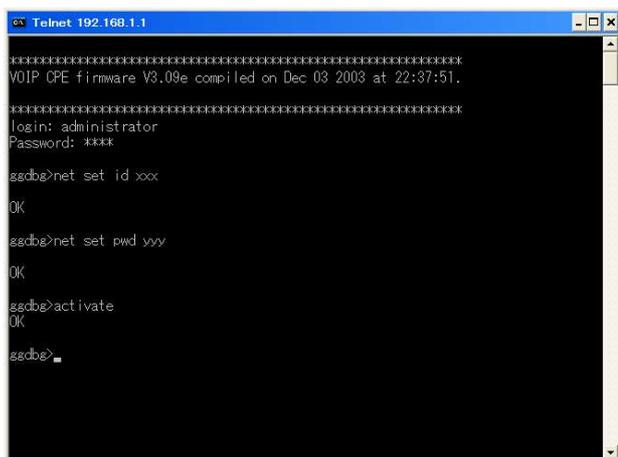
gsdb>
gsdb>
gsdb>
gsdb>
gsdb>000101814 XGCP CAIF: OUR IP UNKNOWN.. CAIF NOT UP
000103014 XGCP CAIF: OUR IP UNKNOWN.. CAIF NOT UP
gsdb>000104689 XGCP CAIF: OUR IP UNKNOWN.. CAIF NOT UP
gsdb>net 000106189 XGCP CAIF: OUR IP UNKNOWN.. CAIF NOT UP
t_set_pwd yyyReconnecting.....
| 連続してコマンド入力 | timer! |
|-----| |
Begin PPPoE.....

Re-start PPPoE procedures, and then all network services will be reinitiated
!!

pppoe tx PAD1
PPPoE Shutdown.....
```

⑧"activate"を実行します。

activate



```
Telnet 192.168.1.1
*****
VOIP CPE firmware V3.09e compiled on Dec 03 2003 at 22:37:51.
*****
login: administrator
Password: ****

gsdb>net set id xxx
OK

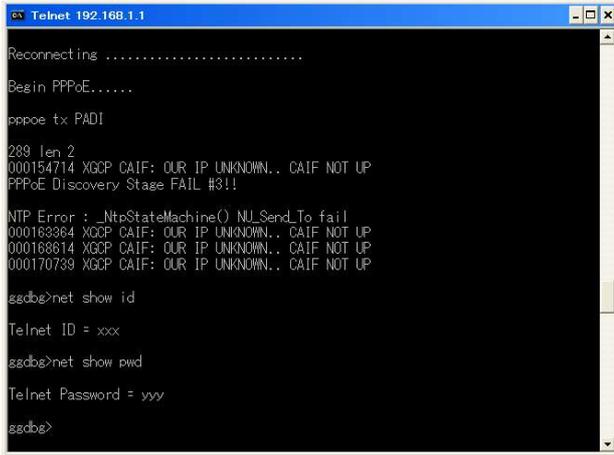
gsdb>net set pwd yyy
OK

gsdb>activate
OK

gsdb>
```

- ⑨ユーザー名(管理アクセスID)が正しく変更されたことを確認します。
net show id

- ⑩パスワード(管理アクセスパスワード)が正しく変更されたことを確認します。
net show pwd



```
Telnet 192.168.1.1
Reconnecting .....
Begin PPPoE.....
pppoe tx PADI
289 len 2
000154714 XGCP CAIF: OUR IP UNKNOWN.. CAIF NOT UP
PPPoE Discovery Stage FAIL #3!!

NTP Error : _NtpStateMachine() NLSend_To fail
0001693864 XGCP CAIF: OUR IP UNKNOWN.. CAIF NOT UP
0001688614 XGCP CAIF: OUR IP UNKNOWN.. CAIF NOT UP
000170739 XGCP CAIF: OUR IP UNKNOWN.. CAIF NOT UP

esdb>net show id
Telnet ID = xxx

esdb>net show pwd
Telnet Password = yyy

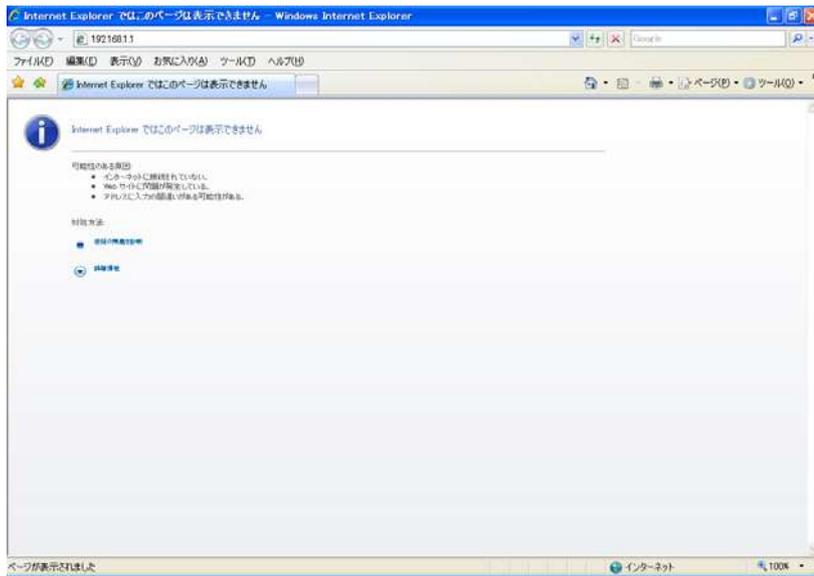
esdb>
```

- ⑪telnetを終了します。
exit

- ⑫コマンドプロンプトを終了します。
exit

4. IVG-144の設定変更

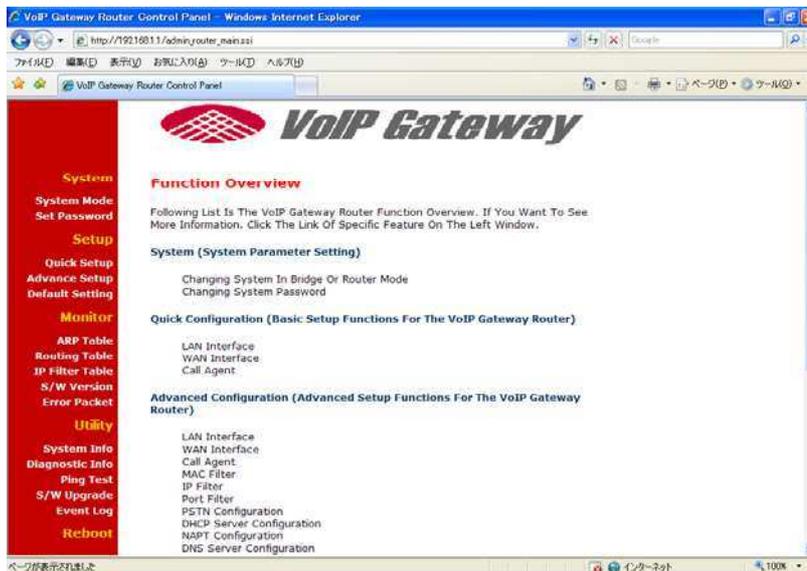
- ①WEBブラウザを起動し、IVG-144(192.168.1.1)へアクセスします。
(失敗する場合は、コマンドプロンプトで"arp -d"を実行して"arp Table"をクリアし再試行してください。)



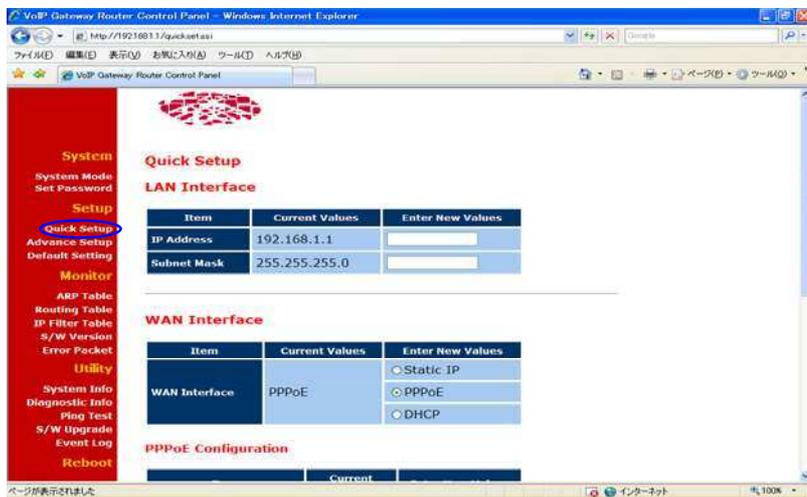
- ②”3. IVG-144へのアクセス用ユーザー名(管理アクセスID)、パスワード(管理アクセスパスワード)の変更”で変更したユーザー名(管理アクセスID)、パスワード(管理アクセスパスワード)を入力し[OK]をクリックします。



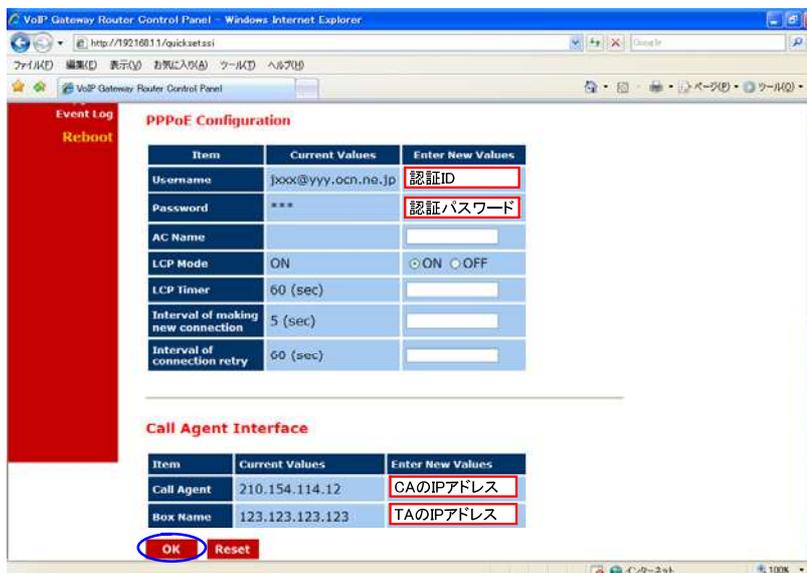
③Function Overview (TOPページ)が表示されます。



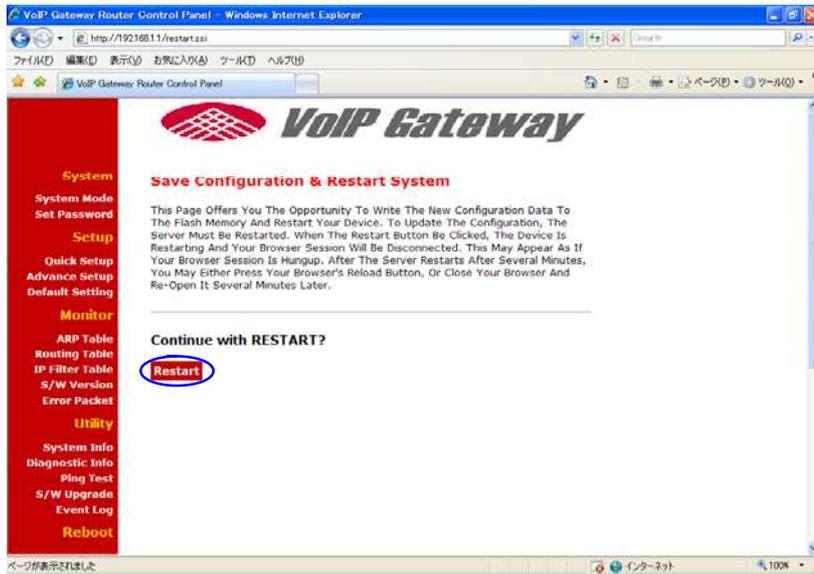
④Function Overviewの左のメニューからSetup欄の「Quick Setup」をクリックし、「Quick Setup」画面を表示します。



- ⑤現在の設定 (Current Values)とは異なる、設定変更となる項目を該当の"Enter New Values"に入力し、[OK]をクリックします。
 ※NTTコミュニケーションズ様から送付される2種類の「ご利用内容のご案内」の内、「ご利用サービス名」の項に「Phone IP Centrex」と記載されているもので、設定内容を確認してください。
- Username: (.Phone IP Centrex用認証ID) ...通常は、先頭1文字目が"j"です。
 - Password: (.Phone IP Centrex用認証パスワード)
 - Call Agent: (.Phone IP Centrex用CAのIPアドレス)
 - Box Name: (.Phone IP Centrex用TAのIPアドレス)

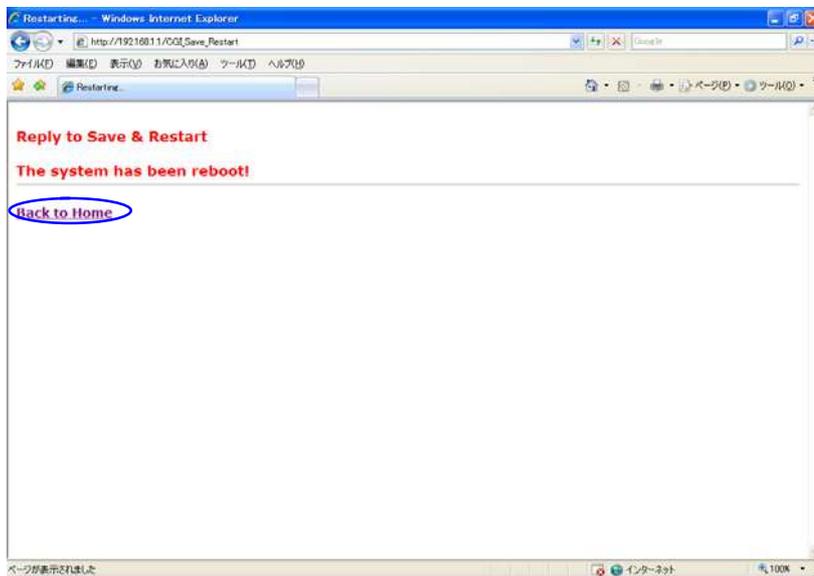


⑥[Restart]をクリックします。

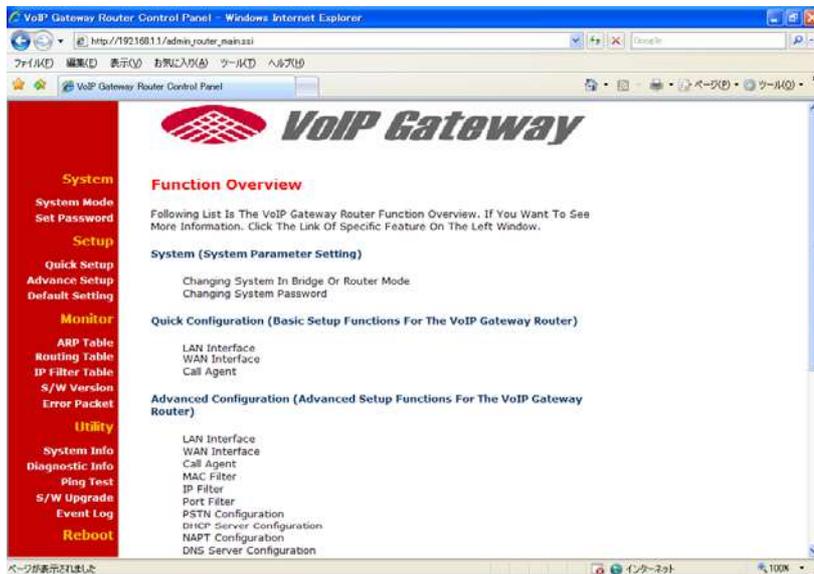


⑦[Restart]をクリックすると、下記のように表示され、IVG-144が再起動します。

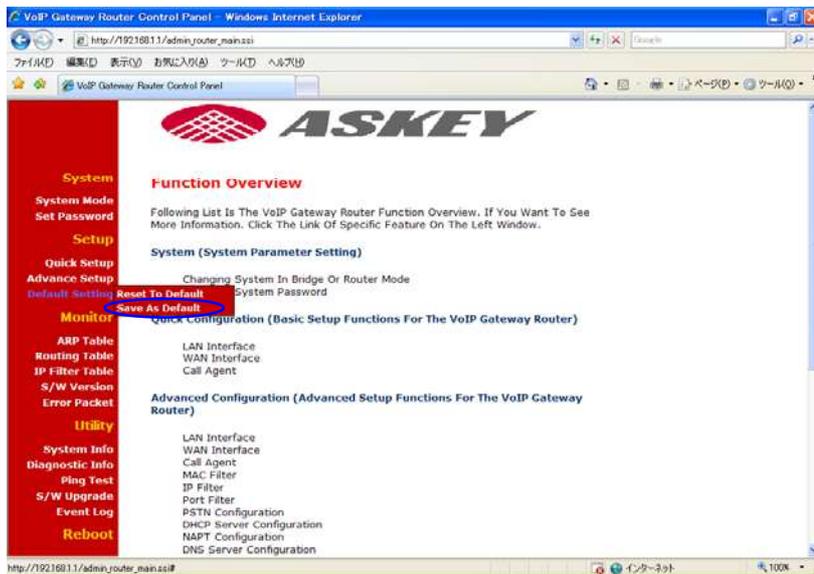
⑧IVG-144再起動後(20秒後程度)、Back to Homeをクリックします。



⑨Function Overview (TOPページ)が表示されます。



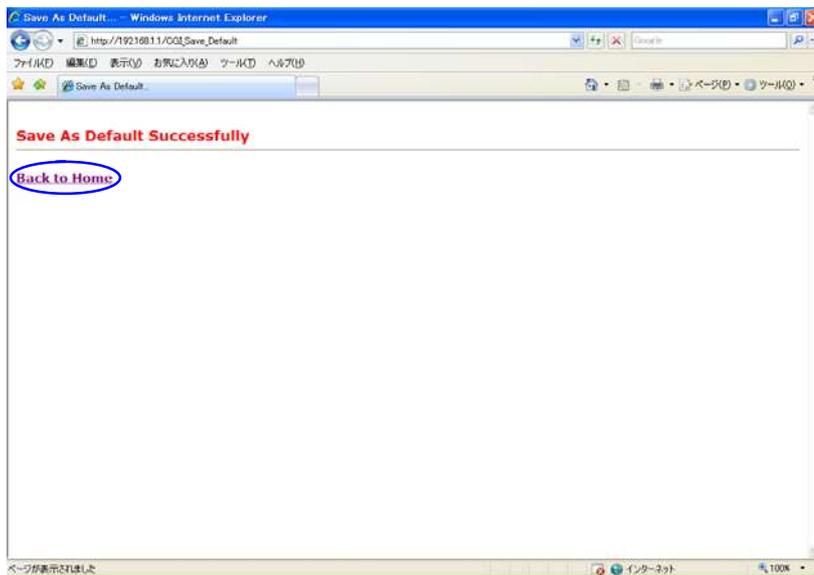
⑩Function Overviewの左のメニューからSetup欄の「Default setting」にカーソルを合わせ「Save As Default」をクリックし、「Save As Default」画面を表示します。



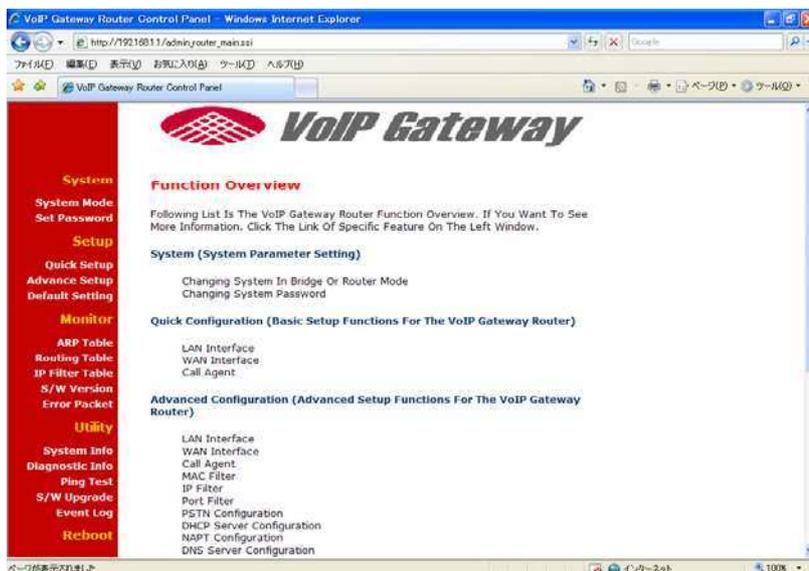
⑪[OK]をクリックします。



⑫Back to Homeをクリックします。

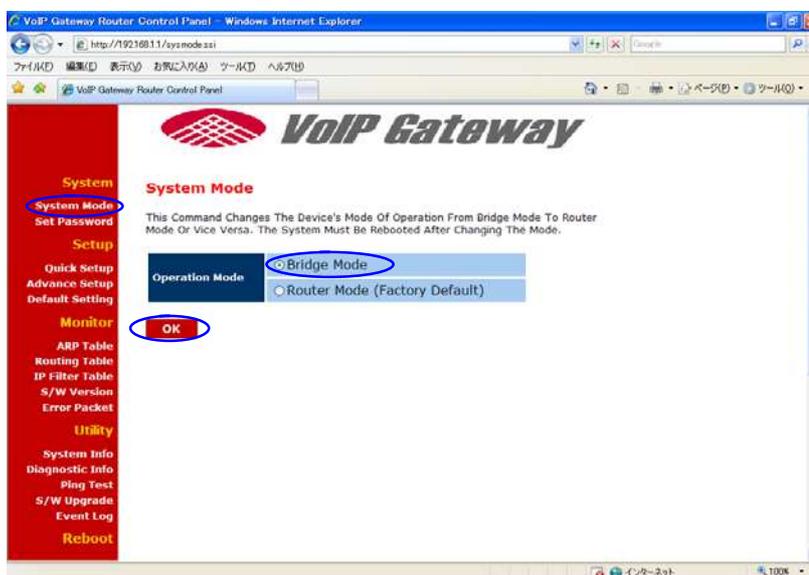


⑬Function Overview (TOPページ)が表示されます。

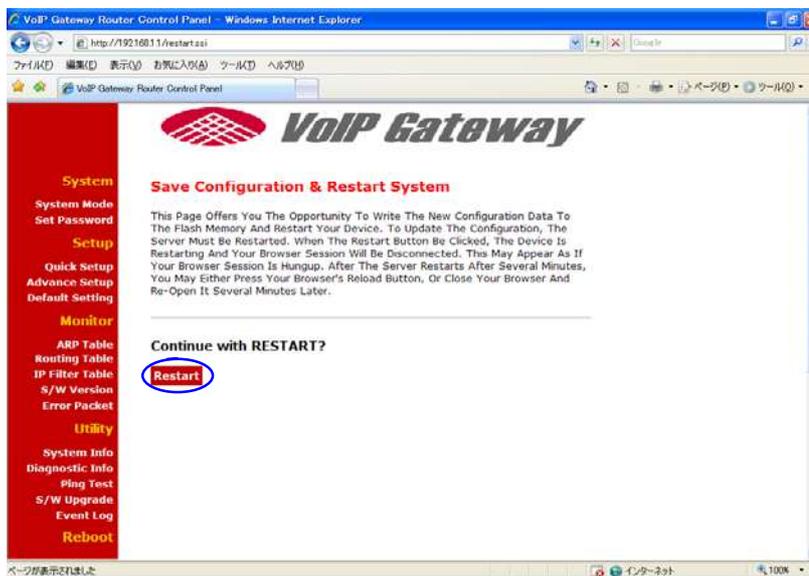


⑭Function Overviewの左のメニューからSystem欄の「System Mode」をクリックし、「System Mode」画面を表示します。

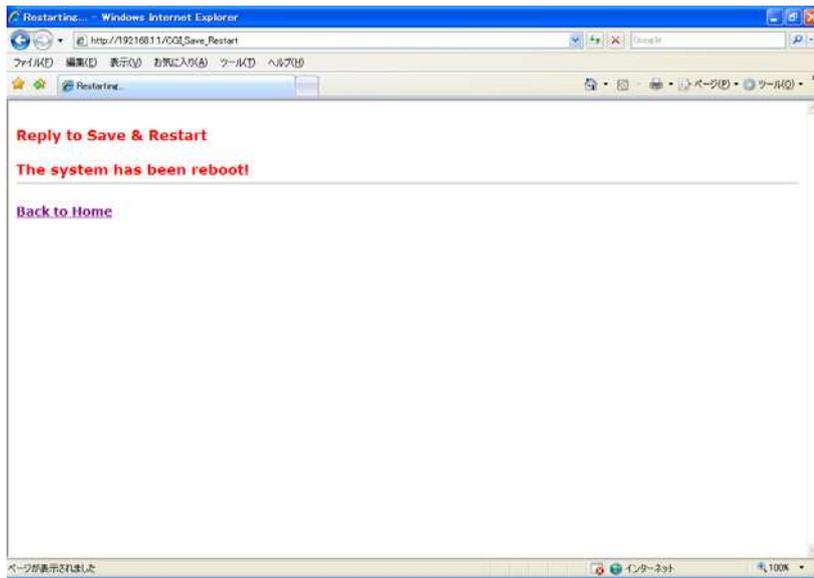
⑮Operation Mode: Bridge Modeを選択し、[OK]をクリックします。



⑯[Restart]をクリックします。



- ①IVG-144が再起動します。
※これ以降はIVG-144にはアクセスできなくなります。



- ⑩WEBブラウザを閉じて、終了します。
⑪PCのLANポートとIVG-144のLAN1ポートに接続されているLANケーブル(ストレートケーブル)を抜きます。
⑫設定変更前に抜いたケーブルを元の位置に全て接続します。